

平成29年度

事業年報

公益財団法人 岡山県健康づくり財団

はじめに

当財団は平成3年8月に設立されて以来、県民皆様の疾病予防や健康づくりを支援するとともに県や市町村の保健衛生、環境施策を補完する事業により地域に貢献することを目指して、健康診断事業をはじめ、各種環境検査事業、病院事業、健康づくり支援事業等に取り組んでまいりました。

この冊子は、当財団の平成29年度における事業内容の記録として作成したものであります。

ご高覧のうえご指導を賜りますとともに業務の参考としていただければ幸甚に存じます。

今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 松山正春

目 次

I	事業内容	1
II	役員名簿	2
III	組織	3
1	組織図	3
2	職種別、組織別職員数	4
IV	事業報告	
1	保健部	5
(1)	住民健診	5
1.	特定健診・後期高齢者健診	5
2.	肝炎ウイルス検査	7
(2)	保健指導	8
(3)	一般健康診断	9
(4)	特殊健康診断	10
(5)	胸部X線検診（結核検診・肺がん検診）	11
(6)	胃がん検診	15
(7)	子宮がん検診	18
(8)	乳がん検診	21
(9)	大腸がん検診	24
(10)	前立腺がん検診	27
(11)	骨粗鬆症検診	29
(12)	学校保健検査	30
1.	尿検査	30
2.	寄生虫検査	32
3.	貧血検査	34
4.	心臓検診	35
5.	小児生活習慣病予防健診	36
(13)	先天性代謝異常等検査	38
2	環境部	40
(1)	飲料水検査	40
(2)	簡易専用水道検査	42

(3) 浄化槽法定検査	4 4
(4) 岡山県浄化槽水質管理実施要綱に基づく検査	4 6
(5) 産業排水検査	4 8
(6) 河川水検査	5 0
(7) 食品検査	5 2
(8) 腸内細菌検査等	5 4
(9) その他の検査	5 5
3 精度管理室	5 6
4 食鳥検査事業	5 8
5 附属病院	6 1
(1) 外来状況	6 1
(2) 入院状況	6 2
(3) リハビリテーション	6 3
(4) 先進の医療機器による検査	6 3
(5) 安全・安心な患者満足度の高い医療の提供	6 3
(6) 地域連携の推進	6 4
(7) 結核医療連携拠点病院の指定	6 4
(8) 指導・相談	6 4
(9) 財団各部門との連携	6 5
(10) 難病相談・支援事業	6 5
6 南部健康づくりセンター	6 6
(1) 健康増進部門	6 6
1. ヘルスチェックの状況	6 6
2. 施設自由（フリー）利用状況	6 8
3. お手軽教室	6 9
4. 健康づくり栄養講座及び外部講師料理教室	7 1
5. リラクゼーションセミナー	7 3
6. 健康増進指導体験	7 3
(2) 教育・研修部門	7 4
1. 派遣事業	7 4
2. 図書資料室	7 5
3. 大会議室・小会議室・栄養指導室・多目的聴講室	7 5

4. 研究室の開放	75
(3) 調査・研究部門	76
1. 業績	76
(4) スポーツ医科学部門	76
1. 受診者数及びその内訳	76
(5) 健康診断（人間ドック）部門	77
1. 人間ドック	77
2. 脳ドック	81
3. らせんCT胸部検診	82
7 普及啓発事業	83
(1) 財団の広報	83
(2) 結核予防に関する事業	83
(3) がん予防に関する事業	84
(4) 禁煙の普及啓発に関する事業（岡山県禁煙問題協議会）	85
(5) 「健康おかやま21」への参加	85
(6) 助成事業	86
(7) 会議等の開催	87

I 事業内容

- (1) 健康づくり及び結核、がん、循環器疾患等の予防に関する知識の普及啓発及び調査研究
- (2) 健康づくりの実践活動に対する指導及び援助
- (3) 結核、がん、生活習慣病等の健康診査
- (4) 保健及び医療に関する情報の収集及び提供
- (5) 保健医療従事者及び健康づくり指導者の養成及び研修
- (6) 結核及び呼吸器疾患を中心とする医療
- (7) 保健及び医療に関する臨床検査
- (8) 食品衛生に関する試験検査
- (9) 浄化槽法定検査事業
- (10) 飲料水水質の試験検査
- (11) 簡易専用水道検査事業
- (12) 環境計量証明事業
- (13) その他生活環境の保全に関する試験検査
- (14) 食鳥検査事業
- (15) その他財団の目的を達成するために必要な事業

II 役員名簿

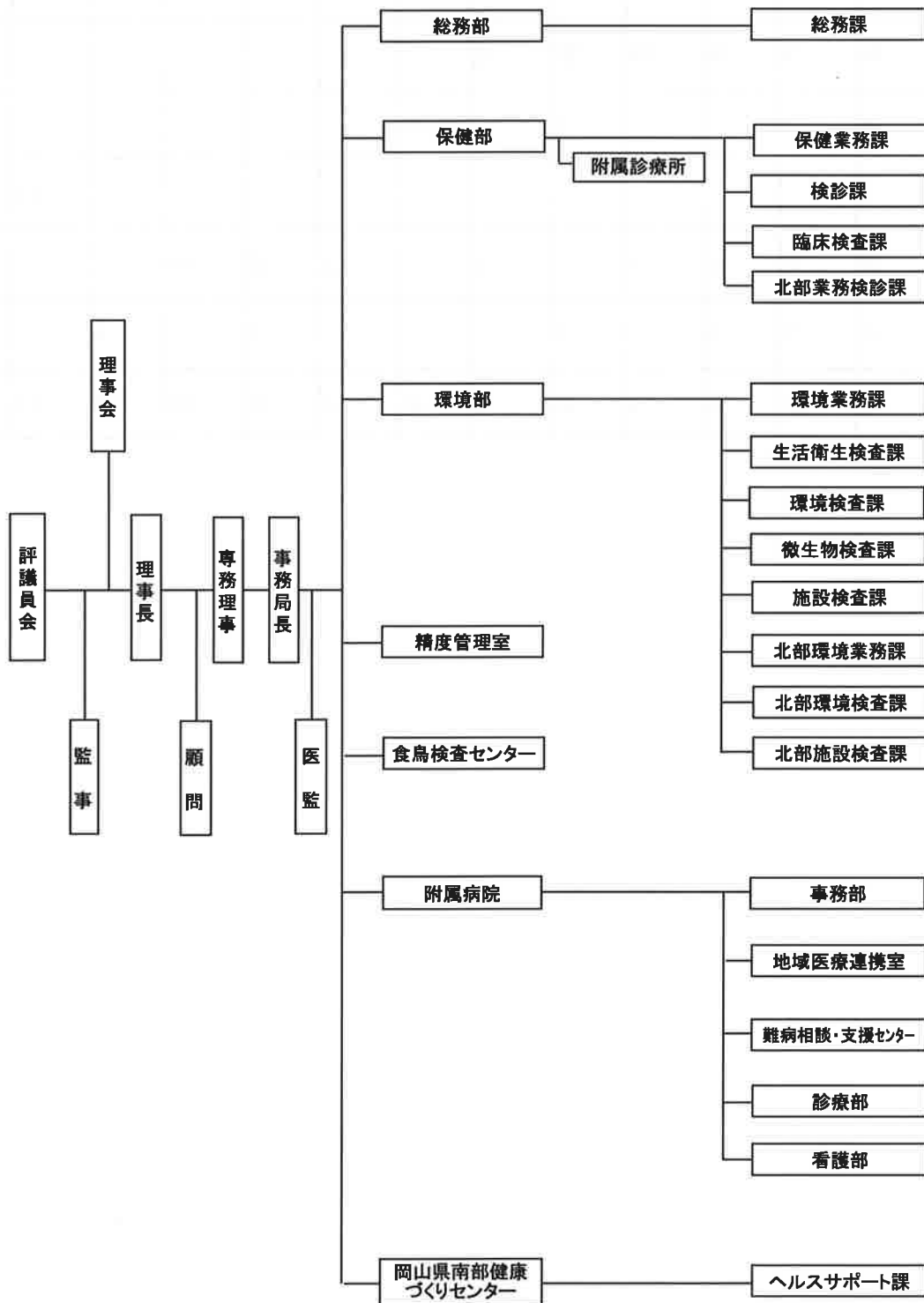
平成29年4月1日現在

役職名	氏名	備考
評議員	荒木裕人	岡山県保健福祉部長
〃	清水信義	岡山県医師会副会長
〃	難波義夫	岡山県病院協会長
〃	三浦寛人	岡山市医師会長
〃	薄元亮二	津山市医師会長
〃	大塚愛二	岡山大学医学部長
〃	内山登	岡山県議会議員
〃	福永仁夫	川崎医科大学長
〃	酒井昭則	岡山県歯科医師会長
〃	堀部徹	岡山県薬剤師会長
〃	萩原誠司	岡山県市長会長
〃	山崎親男	岡山県町村会長
〃	岡崎文代	岡山県愛育委員連合会長
〃	中島玲子	岡山県栄養改善協議会長
理事長 (代表理事)	石川紘	岡山県医師会長
専務理事 (業務執行理事)	大森弘介	岡山県健康づくり財団専務理事
理事	阪本文雄	山陽新聞社会事業団専務理事
〃	岡崎邦泰	日本乳がん検診学会名誉会員
〃	森恵子	岡山県栄養士会長
〃	宮田明美	岡山県看護協会長
〃	守谷欣明	岡山県健康づくり財団名誉顧問
〃	守安秀徳	岡山県健康づくり財団環境部長
〃	西井研治	医監 (兼)岡山県健康づくり財団附属病院長
〃	坪田典之	岡山県健康づくり財団保健部長
〃	関明穂	岡山県南部健康づくりセンター長
監事	有本耕平	弁護士
〃	小川洋一	公認会計士・税理士

III 組織

1 組織図

平成29年4月1日現在



2 職種別・組織別職員数

平成29年4月1日現在

	事務職	医師	保健師・ 看護師・ 准看護師	放射線 技師	臨床 検査技師	理学 療法士	環境 検査技師	薬剤師	栄養士・ 調理員	介護職	運動 指導員等	食鳥 検査員	合 計
総務部	16												16
保健部	35	3	25	13	21	2							99
環境部	18				1		60						79
食鳥検査 センター	1						1					14	16
附属病院	16	5	44	1	1	2		2	13	16			100
南部健康 づくり センター	11	2	6	5	3				2		5		34
合 計	97	10	75	19	26	4	61	2	15	16	5	14	344

IV 事業報告

1 保健部

(1) 住民健診

1. 特定健診・後期高齢者健診

1) 健診概要

目的：生活習慣病の予防

対象：特定健診：医療保険加入者で、実施年度中に40～75歳になる者
後期高齢者健診：76歳以上の者

補足)・対象年齢の誕生日以前等での振り分けは各市町によって異なる。

・医療保険加入者：国保加入者及び、被用者保険の被扶養者を対象として集計している。

2) 実施状況

13市町から委託を受け、20,480人の健診を実施し、前年度に比べ597人(3.00%)の増加であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
特定健診	国保	12,149	12,120	12,346	11,552	10,943
	他健保	1,447	1,394	1,595	4,502	5,446
	その他	334	1,575	2,309	346	351
後期高齢者健診		3,795	3,811	3,616	3,483	3,740
計		17,725	18,900	19,866	19,883	20,480

② メタボリックシンドローム判定内訳 (国保、他健保)

(人)

区分	性別	受診者数	メタボリックシンドローム判定結果内訳					
			該当		予備群		非該当	
国保	男性	4,745	1,085	22.9%	792	16.7%	2,868	60.4%
	女性	6,198	469	7.6%	352	5.7%	5,377	86.8%
他健保	男性	204	61	29.9%	43	21.1%	100	49.0%
	女性	5,242	279	5.3%	256	4.9%	4,707	89.8%
合計	男性	4,949	1,146	23.2%	835	16.9%	2,968	60.0%
	女性	11,440	748	6.5%	608	5.3%	10,084	88.1%
	計	16,389	1,894	11.6%	1,443	8.8%	13,052	79.6%

3) 健診方法

① 健診項目

・ 基本的な健診の項目

問診

身体計測 (身長、体重、腹囲、BMI。後期高齢者健診は腹囲なし)

理学的所見 (身体診察)

血圧 (収縮期血圧、拡張期血圧)

血中脂質検査 (中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール)

肝機能検査 (AST、ALT、 γ -GT)

血糖検査 (空腹時血糖、ヘモグロビンA1c。いずれかの項目の実施で可)

尿検査 (尿糖、尿蛋白)

・ 詳細な健診の項目 (医師の判断による追加項目)

貧血検査 (赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値)

心電図検査

眼底検査

② メタボリックシンドロームの判定基準

・ 必須条件

腹囲： 男性 85 cm以上、女性 90 cm以上

・ 以下のうち2つ以上が該当

血糖： 空腹時血糖 110 mg/dl 以上、随時の場合は HbA1c 6.0%以上

脂質： 中性脂肪 150 mg/dl 以上、または HDL-コレステロール 40 mg/dl 未満

血圧： 収縮期 130 mm Hg 以上、または 拡張期 85 mm Hg 以上

※ 脂質・血圧は、いずれかまたは両方

2. 肝炎ウイルス検査

1) 検査概要

目的： B型・C型肝炎から肝硬変・肝がん等に悪化するのを予防するため
(B型・C型肝炎の早期発見、早期治療)

対象： 当年度40歳になる者(節目検診)又は過去に受診したことがない者

2) 実施状況

12市町から委託を受け実施した。

B型肝炎検査は、1,470人の健診を実施し、前年度に比べ40人(2.80%)の増加であった。

C型肝炎検査は、1,471人の健診を実施し、前年度に比べ40人(2.80%)の減少であった。

① 受診者数の年次推移

区分		(人)				
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
肝炎ウイルス検査	B型肝炎検査	2,190	2,346	2,568	1,430	1,470
	C型肝炎検査	2,192	2,346	2,570	1,431	1,471

② 陽性率

B型肝炎検査： 陽性者数は11人で、陽性率は0.75%であった。

C型肝炎検査： 感染者数は0人で、感染率は0.00%であった。

3) 検査方法

B型肝炎検査： HBs抗原検査(定性)

C型肝炎検査： 問診、HCV抗体検査(CLEIA法)、HCVコア蛋白測定によるHCV抗原検査、HCV-RNA定量検査

(2) 保健指導

1) 指導概要

目的：対象者が自らの健康状態を自覚し、生活習慣の改善のための自主的な取り組みを継続的に行うことができるよう支援する

対象：健康診断の結果、健康の保持に努める必要がある者
ただし、特定保健指導については医療保険者により、動機づけ支援または積極的支援に階層化された者

2) 実施状況

地域では214人の保健指導を実施し、前年度に比べ49人(18.63%)の減少であった。
職域では1,403人の保健指導を実施し、前年度に比べ118人(14.45%)の減少であった。

全体では前年度に比べ69人(4.53%)の増加であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
地域	260	296	265	263	214
職域	1,260	1,117	1,502	1,285	1,403
計	1,520	1,413	1,767	1,548	1,617

② 年齢階層別実施状況

(人)

積極的支援		40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
地域	男性	9	10	8	0	27
	女性	0	2	5	0	7
職域	男性	395	283	42	0	720
	女性	46	48	12	0	106
計		450	343	67	0	860

動機付け支援		40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
地域	男性	4	6	52	37	99
	女性	2	6	40	33	81
職域	男性	206	126	26	9	367
	女性	84	86	30	10	210
計		296	224	148	89	757

その他保健指導		39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
職域	男性	46	0	3	0	49
	女性	34	4	7	2	47
計		80	4	10	2	96

③ セミナー開催

更年期セミナー 受講者 115 人

3) 指導方法

期間：6ヵ月間

支援：面接 … 個別または8人以下のグループ

通信 … 手紙、メール、電話

(3) 一般健康診断

1) 健診概要

目的： 事業所就業者の健康管理と疾病の早期発見

対象： 事業所就業者

2) 実施状況

92,157 人の健診を実施し、前年度に比べ 354 人 (0.39%) の増加であった。

① 受診者数の年次推移

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実施人員	66,391	64,095	84,823	91,803	92,157

(人)

3) 健診方法

① 健診項目

労働安全衛生法で定める検査項目を基本としている。

② 健診区分

区分	時期	項目	備考
雇入れ時	雇入れ時	① 既往、業務歴の調査 ② 自他覚症状	労働者の採用時に実施
一般	1年以内に1回	③ 身長、体重、BMI 腹囲、視力、聴力 ④ 胸部X線、喀痰 ⑤ 血圧、尿糖、尿蛋白 ⑥ 貧血検査 ⑦ 肝機能検査 ⑧ 血中脂質検査 ⑨ 血糖検査 ⑩ 心電図検査	④を除き特定業務従事者等は 6ヶ月以内に1回

(4) 特殊健康診断

1) 健診概要

目的： 特定の有害業務に従事する就業者を対象とした健康管理

対象： 有害業務従事者

2) 実施状況

10,079人の健診を実施し、前年度に比べ2,287人(29.32%)の増加であった。

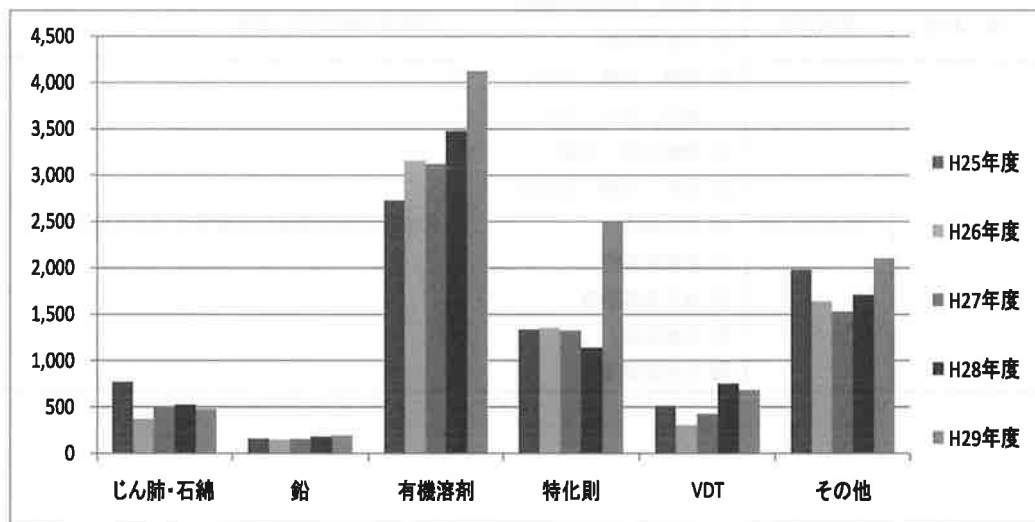
① 項目別実施状況

じん肺・石綿健診は479人、鉛健診は197人、有機溶剤健診は4,127人
特定化学物質健診は2,490人、VDT健診は684人、その他健診は2,102人であった。

② 項目別受診者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
じん肺・石綿	772	372	502	525	479
鉛	161	151	158	182	197
有機溶剤	2,729	3,159	3,126	3,478	4,127
特化則	1,336	1,353	1,326	1,143	2,490
VDT	515	309	427	753	684
その他	1,983	1,641	1,532	1,713	2,102
計	7,496	6,985	7,071	7,794	10,079



3) 健診方法

労働安全衛生法及びじん肺法で定める検査項目を基本としている。

(5) 胸部X線検診（結核検診・肺がん検診）

1) 検診概要

目的：「結核」の早期発見、まん延防止及び「肺がん」の早期発見、死亡率低下
対象：「結核」は65歳以上の住民、労働安全衛生法による定期健診対象者及び
感染症法による対象者、「肺がん」は40歳以上の住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では58,966人の検診を実施し、前年度に比べ3,516人（5.63%）の減少であった。
職域では39,712人の検診を実施し、前年度に比べ1,848人（4.45%）の減少であった。
各種学校では20,338人の検診を実施し、前年度に比べ826人（3.90%）の減少であった。
全体では前年度に比べ5,331人（4.26%）の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
地域	73,702	69,512	66,656	62,482	58,966
職域	43,066	38,459	46,977	41,560	39,712
各種学校	23,793	23,205	23,006	21,164	20,338
計	140,561	131,176	136,639	125,206	119,016

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率（各種学校の読影のみ除く）

要精検者数は1,381人で、要精検率は1.39%であった。

④ 精検受診率（各種学校除く）

精検受診者数は1,010人で、精検受診率は73.14%であった。

⑤ がん発見率（各種学校除く）

発見された人数は25人で、発見率は0.03%であった。
内訳は男性19人、女性6人であった。

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
がん発見者数	10	24	25	27	25
がん発見率	0.01%	0.02%	0.02%	0.03%	0.03%

3) 検診方法

① 検診項目

結核検診 : 胸部X線間接撮影 (100mm)

肺がん検診 : 問診、胸部X線写真読影 (100mm)、喀痰細胞診 (問診で喫煙指数600以上の者または6ヶ月以内に血痰のあった者、いずれかに該当する者)

② 判定方法

胸部疾患専門医師2名による二重読影を行う。
肺がん検診では読影結果に基づき比較読影を実施する。

③ 判定区分

異常なし : 所見なし (有所見を含む)
経過観察 : 精密検査は不要だが経過を観察する
要精検 : 病変の発見及びその疑いがある

別表1 胸部X線検診年齢階層別実施状況(地域)

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳									
					肺がん	肺がん疑い	悪性腫瘍	肺結核要医療	肺結核要観察	肺結核治療	他呼吸器	循環器	その他	異常なし
男	～39	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～44	320	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	45～49	376	3	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	50～54	352	4	3	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
	55～59	484	3	5	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2
	60～64	1,123	13	12	0	1	0	0	0	0	0	0	8	3
	65～69	3,937	45	48	0	4	0	0	0	0	1	0	36	7
	70～74	5,220	78	77	2	3	0	0	0	0	0	0	60	12
	75～79	4,584	103	110	3	10	0	0	2	0	0	0	83	12
	80～	4,826	188	178	14	0	0	0	2	0	2	0	141	19
計	21,223	437	437	19	22	0	0	4	0	5	0	331	56	
女	～39	39	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～44	900	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3
	45～49	1,078	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
	50～54	1,252	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2
	55～59	1,991	18	18	0	0	0	0	0	0	1	0	13	4
	60～64	3,527	34	19	1	0	0	0	1	0	0	0	13	4
	65～69	8,007	94	94	0	8	0	0	0	0	1	0	67	18
	70～74	8,534	94	94	2	8	0	0	2	0	1	0	66	15
	75～79	6,514	106	105	2	4	0	0	0	0	0	0	81	18
	80～	5,901	141	141	1	5	0	0	2	0	1	0	106	26
計	37,743	507	491	6	25	0	0	5	0	4	0	356	93	
合計	58,966	944	928	25	47	0	0	9	0	9	0	687	149	

別表2 胸部X線検診年齢階層別実施状況(職域)

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳									
					肺がん	肺がん疑い	悪性腫瘍	肺結核要医療	肺結核要観察	肺結核治療	他呼吸器	循環器	その他	異常なし
男	～39	12,081	33	5	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
	40～44	2,433	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	45～49	2,317	30	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	50～54	1,737	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	55～59	1,342	20	6	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0
	60～64	1,273	26	10	0	0	0	0	0	0	1	0	6	3
	65～69	821	33	6	0	0	0	0	0	0	3	0	2	1
	70～74	309	20	4	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	75～79	125	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80～	203	29	8	0	0	0	0	1	0	3	0	3	1
	不明	639	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
	計	23,280	232	54	0	1	0	0	1	0	12	0	29	11
女	～39	7,954	27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	40～44	1,644	8	4	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	45～49	1,785	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	50～54	1,377	22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	55～59	1,182	20	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	60～64	937	29	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	65～69	432	12	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	70～74	203	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	75～79	114	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	80～	787	58	11	0	0	0	0	1	0	3	0	6	1
	不明	17	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
計	16,432	205	28	0	0	0	0	1	0	4	2	15	6	
合計	39,712	437	82	0	1	0	0	2	0	16	2	44	17	

別表3 胸部X線検診年齢階層別実施状況(各種学校)

区分	受診者数	一次検査結果内訳			
		異常なし	経過観察	要精検	撮影のみ
高：1学年	6,159	6,154	0	5	0
高：その他	265	263	0	2	0
養護学校	281	280	1	0	0
その他学校	13,633	12,372	0	20	1,241
計	20,338	19,069	1	27	1,241

別表4 喀痰細胞診年齢階層別実施状況(地域)

区分	年齢	受診者数	一次検査結果内訳				
			再検査	異常なし	観察	悪性腫瘍細胞疑い	悪性腫瘍細胞あり
男	～39	0	0	0	0	0	0
	40～44	12	0	12	0	0	0
	45～49	21	0	21	0	0	0
	50～54	24	0	24	0	0	0
	55～59	32	0	31	1	0	0
	60～64	81	0	80	1	0	0
	65～69	271	3	267	1	0	0
	70～74	365	0	363	1	1	0
	75～79	291	0	288	3	0	0
	80～	241	0	238	2	0	1
	不明	0	0	0	0	0	0
計	1,338	3	1,324	9	1	1	
女	～39	0	0	0	0	0	0
	40～44	7	0	7	0	0	0
	45～49	14	0	14	0	0	0
	50～54	11	0	11	0	0	0
	55～59	9	0	9	0	0	0
	60～64	18	0	18	0	0	0
	65～69	33	0	33	0	0	0
	70～74	41	0	41	0	0	0
	75～79	29	0	28	1	0	0
	80～	30	0	30	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0
計	192	0	191	1	0	0	
合計	1,530	3	1,515	10	1	1	

別表5 喀痰細胞診年齢階層別実施状況(職域)

区分	年齢	受診者数	一次検査結果内訳				
			再検査	異常なし	観察	悪性腫瘍細胞疑い	悪性腫瘍細胞あり
男	～39	3	0	3	0	0	0
	40～44	4	1	3	0	0	0
	45～49	5	0	5	0	0	0
	50～54	2	0	2	0	0	0
	55～59	7	0	7	0	0	0
	60～64	6	0	6	0	0	0
	65～69	2	0	2	0	0	0
	70～74	0	0	0	0	0	0
	75～79	1	0	1	0	0	0
	80～	0	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0
計	30	1	29	0	0	0	
女	～39	2	0	2	0	0	0
	40～44	1	0	1	0	0	0
	45～49	0	0	0	0	0	0
	50～54	1	0	1	0	0	0
	55～59	2	0	2	0	0	0
	60～64	0	0	0	0	0	0
	65～69	1	0	1	0	0	0
	70～74	1	0	1	0	0	0
	75～79	0	0	0	0	0	0
	80～	0	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0
計	8	0	8	0	0	0	
合計	38	1	37	0	0	0	

(6) 胃がん検診

1) 検診概要

目的： 胃がんの早期発見

対象： 原則として 40 歳以上の地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では 12,376 人の検診を実施し、前年度に比べ 1,457 人 (10.53%) の減少であった。
職域では 6,885 人の検診を実施し、前年度に比べ 372 人 (5.13%) の減少であった。
全体では前年度に比べ 1,829 人 (8.68%) の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
地域	16,604	15,548	16,452	13,833	12,376
職域	6,967	7,050	7,415	7,257	6,885
計	23,571	22,598	23,867	21,090	19,261

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は 1,393 人で、要精検率は 7.23% であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は 1,024 人で、精検受診率は 73.51% であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は 25 人で、発見率は 0.13% であった。

内訳は男性 22 人、女性 3 人であった。

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
がん発見者数	28	14	30	19	25
がん発見率	0.12 %	0.06 %	0.13 %	0.09 %	0.13 %

3) 検診方法

① 検診項目

問診、胃部X線検査（日本消化器集団検診学会間接8枚撮影法）

② 判定方法

専門医師による二重読影（ダブルチェック）

③ 判定区分

異常なし： 所見なし（放置可を含む）

経過観察： 精密検査は不要だが経過を観察する

要精検： 疑わしい所見がみられるため精密検査の必要がある

別表1 胃がん検診年齢層別実施状況(地域)

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳													
					異常なし	胃がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	胃潰瘍	胃ポリープ	陳旧性胃潰瘍	慢性胃炎	十二指腸潰瘍	陳旧性十二指腸潰瘍	その他疾病	不明		
男	～39	1	0	0														
	40～44	138	3	2									2					
	45～49	130	9	7	4					1	1		1					
	50～54	155	15	11							2	2	5					2
	55～59	173	10	3							1		2					
	60～64	458	39	27	1					1	5		16					3
	65～69	1,214	132	102	6	3				2	14	13	59					6
	70～74	1,331	139	113	4	5				5	14	8	66	1		3		7
	75～79	898	84	67	6	5				3	8	4	34			1		6
	80～	908	107	84	4	6				2	15	8	45	1				3
	計	5,406	538	416	24	19	0	0		14	60	35	230	2		4		27
女	～39	3	0	0														
	40～44	292	7	5						1			3					1
	45～49	244	6	6	3								3					
	50～54	351	14	11	3					2			5					1
	55～59	485	23	19	2					5			7	1				4
	60～64	922	49	38	2					3	6		23	1		1		2
	65～69	1,556	88	76	9	1				1	16	6	39					4
	70～74	1,407	92	76	6			1		3	10	7	44			1		4
	75～79	962	59	51	2					5	11	2	27					4
	80～	748	45	30	2	1					6		15			2		3
	計	6,970	383	312	29	2	0	1		12	57	15	166	2		4		23
合計	12,376	921	728	53	21	0	1		26	117	50	396	4		8		50	

別表2 胃がん検診年齢層別実施状況(職域)

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳														
					異常なし	胃がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	胃潰瘍	胃ポリープ	陳旧性胃潰瘍	慢性胃炎	十二指腸潰瘍	陳旧性十二指腸潰瘍	その他疾病	不明			
男	～39	823	38	27	4					1	2	1	13					6	
	40～44	893	57	38	5					1	1	2	23	1		1		4	
	45～49	961	60	38	4					1	6	1	18			2		6	
	50～54	722	67	40	3	2				2	4	1	20					8	
	55～59	619	62	36	3					1	2	4	21			1		4	
	60～64	492	48	30	1					2		5	19			1		2	
	65～69	232	35	23	2					1	2	2	12			1		3	
	70～74	57	13	11									9					2	
	75～79	15	3	2								1	1						
	80～	4	2	2		1							1						
	不明																		
計	4,818	385	247	22	3	0	0		9	17	17	137	1		6		35		
女	～39	330	6	3									2			1			
	40～44	419	16	7	3						1		2			1			
	45～49	455	16	8							3		3					2	
	50～54	279	10	5	1					1			3						
	55～59	271	16	12							1	2	9						
	60～64	223	16	10	1	1					2		4			1		1	
	65～69	87	4	3							1		2						
	70～74	20	2	1	1														
	75～79	3	1																
	80～																		
	不明																		
計	2,067	87	49	6	1	0	0		0	9	2	25	0		3		3		
合計	6,885	472	296	28	4	0	0		9	26	19	162	1		9		38		

別表3 胃がん検診年齢層別実施状況(合計)

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳													
					異常なし	胃がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	胃潰瘍	胃ポリープ	陳旧性胃潰瘍	慢性胃炎	十二指腸潰瘍	陳旧性十二指腸潰瘍	その他疾病	不明		
男	～39	824	38	27	4	0	0	0		1	2	1	13	0		0		6
	40～44	1,031	60	40	5	0	0	0		1	1	2	25	1		1		4
	45～49	1,091	69	45	8	0	0	0		2	7	1	19	0		2		6
	50～54	877	82	51	3	2	0	0		2	6	3	25	0		0		10
	55～59	792	72	39	3	0	0	0		1	3	4	23	0		1		4
	60～64	950	87	57	2	0	0	0		3	5	5	35	0		1		5
	65～69	1,446	167	125	7	3	0	0		3	16	15	71	0		1		9
	70～74	1,388	152	124	4	5	0	0		5	14	8	75	1		3		9
	75～79	913	87	69	6	5	0	0		3	8	5	35	0		1		6
	80～	912	109	86	4	7	0	0		2	15	8	46	1		0		3
	不明	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0
計	10,224	923	663	46	22	0	0		23	77	52	367	3		10		62	
女	～39	333	6	3	0	0	0	0		0	0	0	2	0		1		0
	40～44	711	23	12	3	0	0	0		0	2	0	5	0		1		1
	45～49	699	22	14	3	0	0	0		0	3	0	6	0		0		2
	50～54	630	24	16	4	0	0	0		0	3	0	8	0		0		1
	55～59	766	39	31	2	0	0	0		0	6	2	16	1		0		4
	60～64	1,145	65	48	3	1	0	0		3	8	0	27	1		2		3
	65～69	1,623	92	79	9	1	0	0		1	17	6	41	0		0		4
	70～74	1,427	94	77	7	0	0	0		3	10	7	44	0		1		4
	75～79	965	60	51	2	0	0	0		5	11	2	27	0		0		4
	80～	748	45	30	2	1	0	0		0	6	0	15	0		2		3
	不明	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0
計	9,037	470	361	35	3	0	1		12	66	17	191	2		7		26	
合計	19,261	1,393	1,024	81	25	0	1		35	143	69	558	5		17		88	

(7) 子宮がん検診

1) 検診概要

目的：子宮頸がんの早期発見

対象：原則として20歳以上の女性で地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では22,796人の検診を実施し、前年度に比べ1,468人(6.05%)の減少であった。
職域では418人の検診を実施し、前年度に比べ155人(27.05%)の減少であった。
全体では前年度に比べ1,623人(6.54%)の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
地域	26,465	24,658	24,951	24,264	22,796
職域	1,342	1,279	1,385	573	418
計	27,807	25,937	26,336	24,837	23,214

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は166人で、要精検率は0.72%であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は108人で、精検受診率は65.06%であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は7人で、発見率は0.03%であった。

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
がん発見者数	12	5	3	2	7
がん発見率	0.04%	0.02%	0.01%	0.01%	0.03%

3) 検診方法

① 検診項目

問診（既往歴、家族歴等）、医師による視診・内診及び子宮頸部の細胞採取

② 判定方法

細胞診の判定は日本臨床細胞学会認定の細胞検査士がスクリーニングして、ASC-US 以上のものについて細胞診専門医が判定を行う。

③ 判定区分

細胞診判定	結果	推定される 病理診断	従来のクラス分類
NILM	陰性	非腫瘍性所見 炎症	I、II
ASC-US	意義不明な 異型扁平上皮細胞	軽度扁平上皮内病変疑い	II - IIIa
ASC-H	HSILを除外できない 異型扁平上皮細胞	高度扁平上皮内病変疑い	IIIa、IIIb
LSIL	軽度扁平 上皮内病変	HPV感染 軽度異形成	IIIa
HSIL	高度扁平上皮内病変	中等度異形成	IIIa
		高度異形成	IIIb
		上皮内癌	IV
SCC	扁平上皮癌	扁平上皮癌	V
AGC	異型腺細胞	腺異型または 腺癌疑い	III
AIS	上皮内腺癌	上皮内腺癌	IV
Adenoca.	腺癌	腺癌	V
other malign.	その他の悪性腫瘍	その他の悪性腫瘍	V

別表1 子宮頸がん検診年齢階層別実施状況(地域)

年齢	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精検結果内訳			
				異常なし	頸部がん	がん疑い	その他疾病
～19							
20～24	188	8	6	1			5
25～29	351	22	13	3			10
30～34	787	16	8	6	1		1
35～39	1,130	21	14	3			11
40～44	1,938	40	25	7	3		15
45～49	1,608	15	10	2	1		7
50～54	1,333	7	5	2			3
55～59	1,783	9	6	2	1		3
60～64	2,481	9	6	2			4
65～69	4,156	7	7	3			4
70～74	3,597	6	3	1			2
75～79	2,266	2	2	1			1
80～	1,178	1	1		1		
計	22,796	163	106	33	7	0	66

別表2 子宮頸がん検診年齢階層別実施状況(職域)

年齢	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精検結果内訳			
				異常なし	頸部がん	がん疑い	その他疾病
～19	2						
20～24	14	1	1				1
25～29	40						
30～34	18						
35～39	37						
40～44	40	2	1				1
45～49	56						
50～54	88						
55～59	60						
60～64	37						
65～69	15						
70～74	8						
75～79	1						
80～	2						
計	418	3	2	0	0	0	2

別表3 子宮頸がん検診年齢階層別実施状況(合計)

年齢	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精検結果内訳			
				異常なし	頸部がん	がん疑い	その他疾病
～19	2	0	0	0	0	0	0
20～24	202	9	7	1	0	0	6
25～29	391	22	13	3	0	0	10
30～34	805	16	8	6	1	0	1
35～39	1,167	21	14	3	0	0	11
40～44	1,978	42	26	7	3	0	16
45～49	1,664	15	10	2	1	0	7
50～54	1,421	7	5	2	0	0	3
55～59	1,843	9	6	2	1	0	3
60～64	2,518	9	6	2	0	0	4
65～69	4,171	7	7	3	0	0	4
70～74	3,605	6	3	1	0	0	2
75～79	2,267	2	2	1	0	0	1
80～	1,180	1	1	0	1	0	0
計	23,214	166	108	33	7	0	68

(8) 乳がん検診

1) 検診概要

目的： 乳がんの早期発見

対象： 岡山県の指針で30歳代は視触診単独検診を毎年実施、40歳以上はマンモグラフィ併用検診を毎年実施

原則、地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では17,624人の検診を実施し、前年度に比べ1,431人(7.51%)の減少であった。
職域では703人の検診を実施し、前年度に比べ204人(22.49%)の減少であった。
全体では前年度に比べ1,635人(8.19%)の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
地域	16,367	17,178	18,407	19,055	17,624
職域	999	1,092	1,174	907	703
計	17,366	18,270	19,581	19,962	18,327

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は735人で、要精検率は4.01%であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は598人で、精検受診率は81.36%であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は41人で、発見率は0.22%であった。

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
がん発見者数	24	24	34	30	41
がん発見率	0.14%	0.13%	0.17%	0.15%	0.22%

3) 検診方法

① 検診項目

- ・問診、視触診（専門医師による立位・座位・仰臥位・視触診法により行う）
- ・問診、視触診、マンモグラフィ（40歳代のみ、内外斜位一方向と頭尾方向を加えた2方向）

② 判定方法

視触診：専門医師による

マンモグラフィ：マンモグラフィ精度管理中央委員会の認定読影医師による二重読影

③ 判定区分

・視触診

異常なし：今回の検診で異常は認められない者

経過観察：精密検査は不要だが経過を観察する

要精検：今回の検診で精密検査の必要があると診断された者

・マンモ併用

異常なし：今回の検診で異常は認められない者（有所見を含む）

要精検：疑わしい所見が見られるので精密検査が必要と診断された者

別表1 乳がん年齢階層別実施状況(地域)

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳						
				異常なし	乳がん	乳がん疑い	乳腺症	線維腺腫	その他	不明
～29	6									
30～34	27									
35～39	38									
40～44	1,791	126	103	34	2		23	16	27	1
45～49	1,485	83	68	20	1		20	7	20	
50～54	1,280	55	45	20	3		10	5	7	
55～59	1,566	58	49	26	2		8	4	7	2
60～64	2,120	80	73	31	9		11	3	19	
65～69	3,559	140	113	49	10		13	5	32	4
70～74	2,942	99	76	36	6		13	7	11	3
75～79	1,828	52	39	18	7		6	2	6	
80～	982	29	21	13			1	1	6	
不明										
計	17,624	722	587	247	40	0	105	50	135	10

別表2 乳がん年齢階層別実施状況(職域)

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳						
				異常なし	乳がん	乳がん疑い	乳腺症	線維腺腫	その他	不明
～29	29									
30～34	20									
35～39	74									
40～44	115	5	4					2	2	
45～49	124	2	2	1					1	
50～54	123	3	3		1		1		1	
55～59	82	2	1							1
60～64	51									
65～69	39	1	1					1		
70～74	26									
75～79	14									
80～	6									
不明										
計	703	13	11	1	1	0	1	3	4	1

別表3 乳がん年齢階層別実施状況(合計)

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳						
				異常なし	乳がん	乳がん疑い	乳腺症	線維腺腫	その他	不明
～29	35									
30～34	47									
35～39	112									
40～44	1,906	131	107	34	2		23	18	29	1
45～49	1,609	85	70	21	1		20	7	21	
50～54	1,403	58	48	20	4		11	5	8	
55～59	1,648	60	50	26	2		8	4	7	3
60～64	2,171	80	73	31	9		11	3	19	
65～69	3,598	141	114	49	10		13	6	32	4
70～74	2,968	99	76	36	6		13	7	11	3
75～79	1,842	52	39	18	7		6	2	6	
80～	988	29	21	13			1	1	6	
不明										
計	18,327	735	598	248	41	0	106	53	139	11

(9) 大腸がん検診

1) 検診概要

目的：大腸がんの早期発見

対象：原則として40歳以上の地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では20,351人の検診を実施し、前年度に比べ943人(4.43%)の減少であった。
職域では6,783人の検診を実施し、前年度に比べ217人(3.31%)の増加であった。
全体では前年度に比べ726人(2.61%)の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
地域	19,946	20,259	22,604	21,294	20,351
職域	6,501	6,360	7,197	6,566	6,783
計	26,447	26,619	29,801	27,860	27,134

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は1,936人で、要精検率は7.14%であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は1,286人で、精検受診率は66.43%であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は23人で、0.08%であった。

内訳は男性14人、女性9人であった。

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
がん発見者数	25	25	39	33	23
がん発見率	0.09%	0.09%	0.13%	0.12%	0.08%

3) 検診方法

① 検診項目

問診、検査（免疫学的便ヘモグロビン検査、便採取は2日法）

② 判定区分

異常なし：免疫学的便潜血反応検査において2日とも陰性

要精検：免疫学的便潜血反応検査において1日あるいは2日とも陽性

別表1 大腸がん検診年齢階層別実施状況（地域）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳									
					異常なし	大腸がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	大腸ポリープ	憩室	痔	その他疾病	不明	
男	～39													0
	40～44	212	12	9					7			1	1	0
	45～49	202	3	1					1					0
	50～54	211	17	11	4				6				1	0
	55～59	253	17	11	1				8	1	1			0
	60～64	595	44	27	2		1		20	4				0
	65～69	1,621	145	105	16	4			63	11	11			0
	70～74	1,677	170	120	11	2	1		84	7	11	4		0
	75～79	1,321	120	84	10	4			45	10	12	3		0
	80～	1,549	187	128	18	2	1		85	10	11	1		0
計	7,641	715	496	62	12	3	0	319	43	47	10		0	
女	～39	3												0
	40～44	650	47	29	16				3	2	6	2		0
	45～49	596	35	19	7				5	3	4			0
	50～54	617	15	8	1				3	2	1	1		0
	55～59	894	47	32	8	1			17	4	2			0
	60～64	1,466	87	62	24				21	8	8	1		0
	65～69	2,615	162	121	24	3			59	13	17	5		0
	70～74	2,321	147	113	24	3	1		47	11	23	4		0
	75～79	1,762	131	95	21				46	17	9	2		0
	80～	1,786	169	104	20	1	2		51	11	17	2		0
計	12,710	840	583	145	8	3	0	252	71	87	17		0	
合計	20,351	1,555	1,079	207	20	6	0	571	114	134	27		0	

別表2 大腸がん検診年齢階層別実施状況（職域）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳									
					異常なし	大腸がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	大腸ポリープ	憩室	痔	その他疾病	不明	
男	～39	780	37	23	10				6		4	3		0
	40～44	837	41	17	5				6	3	2	1		0
	45～49	872	48	22	5	1			9	4		3		0
	50～54	663	35	16	6				7	1	1	1		0
	55～59	512	25	16	2				6	2	4	1		1
	60～64	424	22	10	1	1			7			1		0
	65～69	202	13	5					2		1	1		1
	70～74	64	7	6	2				4					0
	75～79	34	6	5					3		1	1		0
	80～	9												0
不明													0	
計	4,397	234	120	31	2	0	0	50	10	13	12		2	
女	～39	422	36	19	11				3	1	3	1		0
	40～44	422	27	16	9				3		3	1		0
	45～49	425	20	9	6				1	1	1			0
	50～54	315	19	11	5	1			3	2				0
	55～59	287	15	13	5				4	2	1	1		0
	60～64	279	16	11	1				8		1	1		0
	65～69	122	4	2	1					1				0
	70～74	60	5	3	1					2				0
	75～79	36	4	3	1				2					0
	80～	18	1											0
不明													0	
計	2,386	147	87	40	1	0	0	24	9	9	4		0	
合計	6,783	381	207	71	3	0	0	74	19	22	16		2	

別表3 大腸がん検診年齢階層別実施状況（合計）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳									
					異常なし	大腸がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	大腸ポリープ	憩室	痔	その他疾病	不明	
男	～39	780	37	23	10	0	0	0	6	0	4	3		0
	40～44	1,049	53	26	5	0	0	0	13	3	3	2		0
	45～49	1,074	51	23	5	1	0	0	10	4	0	3		0
	50～54	874	52	27	10	0	0	0	13	1	1	2		0
	55～59	765	42	27	3	0	0	0	14	3	5	1		1
	60～64	1,019	66	37	3	1	1	0	27	4	0	1		0
	65～69	1,823	158	110	16	4	0	0	65	11	12	1		1
	70～74	1,741	177	126	13	2	1	0	88	7	11	4		0
	75～79	1,355	126	89	10	4	0	0	48	10	13	4		0
	80～	1,558	187	128	18	2	1	0	85	10	11	1		0
不明	7,641	715	496	62	12	3	0	319	43	47	10		0	
計	12,038	949	616	93	14	3	0	369	53	60	22		2	
女	～39	425	36	19	11	0	0	0	3	1	3	1		0
	40～44	1,072	74	45	25	0	0	0	6	2	9	3		0
	45～49	1,021	55	28	13	0	0	0	6	4	5	0		0
	50～54	932	34	19	6	1	0	0	6	4	1	1		0
	55～59	1,181	62	45	13	1	0	0	21	6	3	1		0
	60～64	1,745	103	73	25	0	0	0	29	8	9	2		0
	65～69	2,737	166	123	25	3	0	0	59	14	17	5		0
	70～74	2,381	152	116	25	3	1	0	47	13	23	4		0
	75～79	1,798	135	98	22	0	0	0	48	17	9	2		0
	80～	1,804	170	104	20	1	2	0	51	11	17	2		0
不明	12,710	840	583	145	8	3	0	252	71	87	17		0	
計	15,096	987	670	185	9	3	0	276	80	96	21		0	
合計	27,134	1,936	1,286	278	23	6	0	645	133	156	43		2	

(10) 前立腺がん検診

1) 検診概要

目的： 前立腺がんの早期発見

対象： 原則として40歳以上の地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では6,051人の検診を実施し、前年度に比べ116人(1.88%)の減少であった。職域では475人の検診を実施し、前年度に比べ98人(26.00%)の増加であった。全体では前年度に比べ18人(0.28%)の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
地域	6,213	6,203	6,516	6,167	6,051
職域	311	370	514	377	475
計	6,524	6,573	7,030	6,544	6,526

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は414人で、要精検率は6.34%であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は280人で、精検受診率は67.63%であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は25人で、発見率は0.38%であった。

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
がん発見者数	21	26	40	29	25
がん発見率	0.32%	0.40%	0.57%	0.44%	0.38%

3) 検診方法

① 検診項目： 問診、前立腺特異抗原検査 (CLEIA法)

② 判定区分： PSAの基準値を4.0ng/mlとし、4.0以下を異常なし、4.1以上を要精検と判定

別表1 前立腺がん検診年齢階層別実施状況（地域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳								
				異常なし	がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	肥大	前立腺炎	その他	不明	
～39												
40～44	82											
45～49	64											
50～54	189	2	1	1								
55～59	216	5	4	2				2				
60～64	537	26	14	5	1	2		6				
65～69	1,559	92	59	11	4	8		30				6
70～74	1,539	93	62	10	6	6		33	1	2		4
75～79	988	83	63	9	8	10		29	2	1		4
80～	877	96	66	7	5	14		33	2	3		2
計	6,051	397	269	45	24	40	0	133	5	6		16

別表2 前立腺がん検診年齢階層別実施状況（職域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳								
				異常なし	がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	肥大	前立腺炎	その他	不明	
～39	38	1	1						1			
40～44	49											
45～49	54											
50～54	115	1	1					1				
55～59	106	4	4	1				2		1		
60～64	77	5	3	1		1		1				
65～69	29	2	1			1						
70～74	7	4	1		1							
75～79												
80～												
計	475	17	11	2	1	2	0	4	1	1		0

別表3 前立腺がん検診年齢階層別実施状況（合計）

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳								
				異常なし	がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	肥大	前立腺炎	その他	不明	
～39	38	1	1	0	0	0	0	0	1	0		0
40～44	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45～49	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～54	304	3	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0
55～59	322	9	8	3	0	0	0	4	0	1		0
60～64	614	31	17	6	1	3	0	7	0	0		0
65～69	1,588	94	60	11	4	9	0	30	0	0		6
70～74	1,546	97	63	10	7	6	0	33	1	2		4
75～79	988	83	63	9	8	10	0	29	2	1		4
80～	877	96	66	7	5	14	0	33	2	3		2
計	6,526	414	280	47	25	42	0	137	6	7		16

(1 1) 骨粗鬆症検診

1) 検診概要

目的：骨粗鬆症の予防

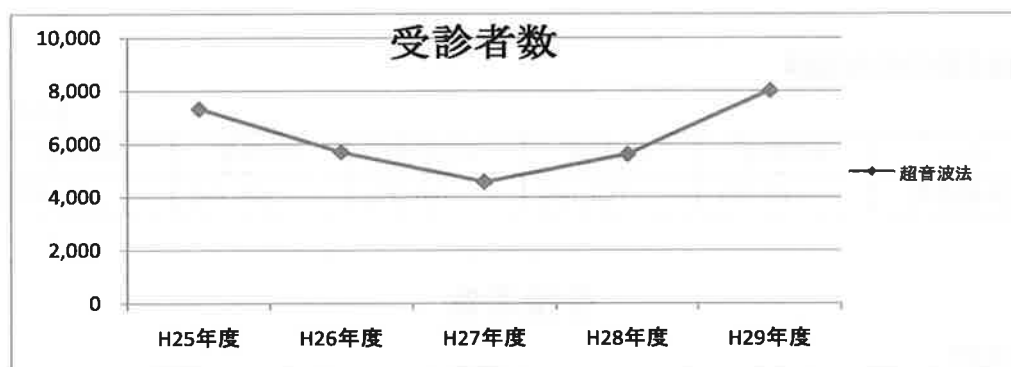
対象：地域住民、事業所就業者、学生

2) 実施状況

8,012人の検診を実施し、前年度に比べ2,399人(42.74%)の増加であった。

① 受診者数の年次推移

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
超音波法	7,328	5,691	4,567	5,613	8,012



3) 検診方法

① 検診項目

- ・問診
- ・超音波法：足のかかると超音波をあてて、音響的骨評価値により骨密度を測定

② 判定方法

性別、年齢別に下記判定基準値（YAM値）と照合し医師による最終判定を行う

4) 判定基準値（成人）

性別	年齢	YAM値に対する割合		
		① 異常なし	② 要指導	③ 要精検
女性	59歳以下	90%以上	90%未満 80%以上	80%未満
	60歳以上	90%以上	90%未満 70%以上	70%未満
男性	全年齢	90%以上	90%未満 75%以上	75%未満

(12) 学校保健検査

1. 尿検査

1) 検査概要

目的：腎臓病・糖尿病等早期発見

対象：学校保健安全法に基づく幼児・児童・生徒等

2) 実施状況

151,195人の検査を実施し、前年度に比べ4,897人(3.14%)の減少であった。

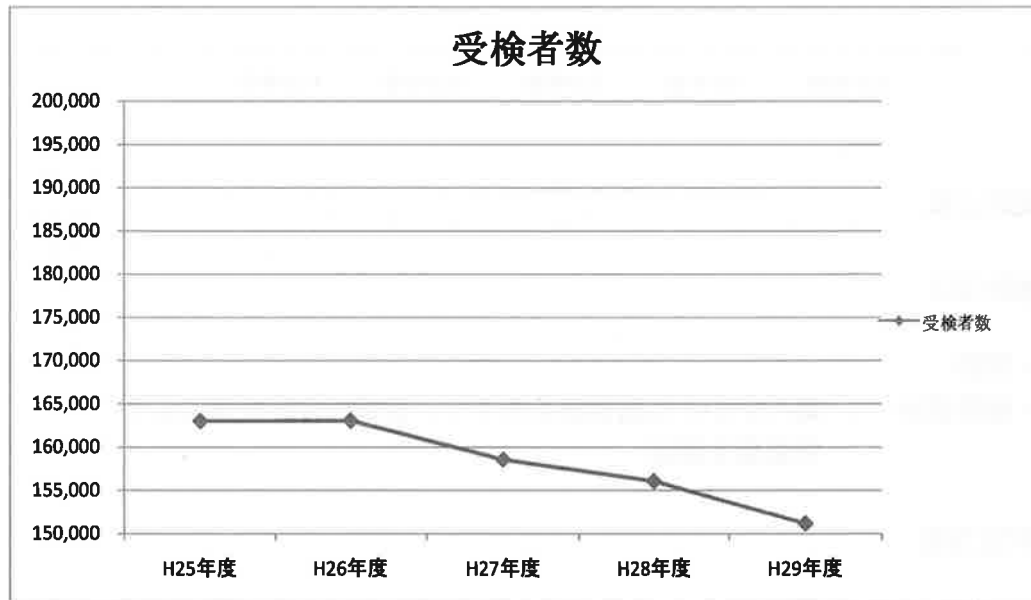
第1回検尿の陽性者は5,178人で、陽性率は3.32%であった。

第2回検尿の陽性者は1,193人で、陽性率は27.97%であった。

① 受検者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
受検者数	163,021	163,082	158,571	156,092	151,195



② 検査実績

対象	性別	第1回検尿						第2回検尿					
		受診者数	陽性者数	陽性率 (%)	項目別陽性者数			受診者数	陽性者数	陽性率 (%)	項目別陽性者数		
					糖	蛋白	潜血				糖	蛋白	潜血
幼稚園 保育園	男	7,918	76	0.96	3	56	19	51	11	21.57	1	8	4
	女	7,468	126	1.69	5	81	46	81	20	24.69	0	13	12
	計	15,376	202	1.31	8	137	65	132	31	23.48	1	21	16
小学校	男	39,115	505	1.29	24	375	123	447	119	26.62	4	96	50
	女	37,100	1,126	3.04	34	775	365	992	311	31.35	2	251	117
	計	76,215	1,631	2.14	58	1,150	488	1,439	430	29.88	6	346	167
中学校	男	18,804	1,395	7.42	26	1,291	104	1,275	371	29.10	2	356	42
	女	17,757	1,370	7.72	34	826	586	1,217	365	29.99	10	318	103
	計	36,561	2,765	7.57	60	2,117	690	2,492	736	29.53	12	674	145
高等学校	男	8,710	533	6.12	28	473	44	432	131	30.32	3	120	23
	女	8,006	479	5.98	26	319	165	376	114	30.32	4	105	28
	計	16,716	1,012	6.05	54	792	209	808	245	30.32	7	225	51
その他の 学校	男	1,494	68	4.55	5	62	3	26	4	16.00	0	4	0
	女	2,982	124	4.16	7	109	10	58	8	13.79	0	8	0
	計	4,476	192	4.29	12	171	13	83	12	14.46	0	12	0
特殊学校	男	1,221	97	7.94	6	87	14	37	12	32.43	0	12	2
	女	630	78	12.38	5	59	24	26	9	34.62	0	8	3
	計	1,851	175	9.45	11	146	38	63	21	33.33	0	20	5
合計	男	77,262	2,676	3.46	92	2,344	307	2,267	648	28.58	10	595	121
	女	73,933	3,303	4.47	111	2,169	1,196	2,750	827	30.07	16	703	263
	計	151,195	5,978	3.95	203	4,513	1,603	5,017	1,475	29.40	26	1,298	384

3) 検査方法

第1回検尿：蛋白、潜血、糖を、尿自動分析装置（US3300）を用いて定性検査を実施する。
蛋白（±）以上の尿に対しては、スルホサリチル酸法で確認する。

第2回検尿：第1回検尿の陽性者に対し第1回検尿と同様の検査項目・検査方法を行う。
蛋白・潜血陽性者に対しては沈渣鏡検を行う。

2. 寄生虫検査

1) 検査概要

目的： 学校保健安全法に基づく寄生虫の保卵者の発見

対象： 幼児、児童、生徒等

2) 実施状況

糞便検査は学校保健安全法の改正が施行され、寄生虫検査が必須項目から外れた影響のため、33人の検査を実施し、前年度と比べ0人(00.00%)の同人数であった。

蟯虫検査は191人の検査を実施し、前年度に比べ1,951人(89.70%)の大幅な減少であった。

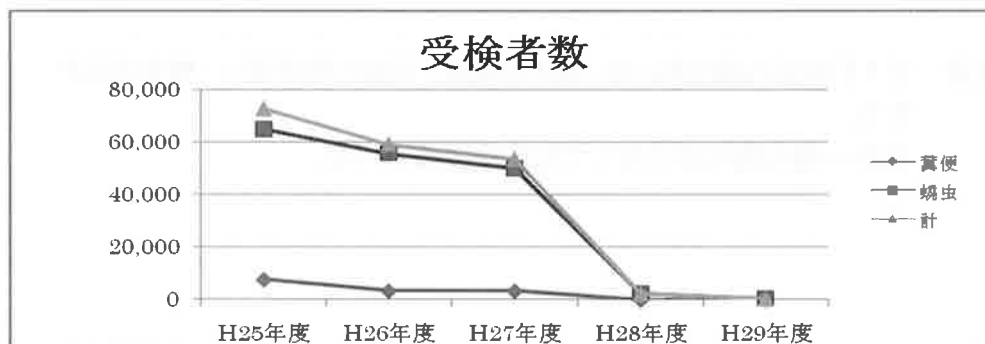
糞便検査の保卵者は0人で、陽性率は0.00%であった。

蟯虫検査の保卵者は0人で、陽性率は0.00%であった。

① 受検者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
糞便	7,653	3,368	3,311	33	33
蟯虫	65,165	55,890	50,162	2,142	191
計	72,818	59,258	53,473	2,175	224



② 検査実績

区分	糞便			蟯虫		
	検査者数	保卵者数	陽性率(%)	検査者数	保卵者数	陽性率(%)
保育園 幼児クラブ	33	0	0.00	191	0	0.00
幼稚園	0	0	0.00	0	0	0.00
小学校	0	0	0.00	0	0	0.00
特殊学校	0	0	0.00	0	0	0.00
計	33	0	0.00	191	0	0.00

3) 検査方法

- ・セロファンテープ肛囲検査法： 蟯虫卵検査方法はセロテープ法を用いた採卵を行う。
(2回法) 夜間に肛門周囲に産卵された蟯虫卵を早朝セロテープの粘着部に付着させ、これを2日間(2回)行い、顕微鏡下で虫卵の有無を鏡検する。
- ・セロファン厚層塗抹法 : 便をマッチの頭程度スライドに乗せ、顕微鏡下で虫卵の有無を鏡検する。

3. 貧血検査

1) 検査概要

目的：貧血をはじめとする血液学的疾病の早期発見

対象：児童、生徒等

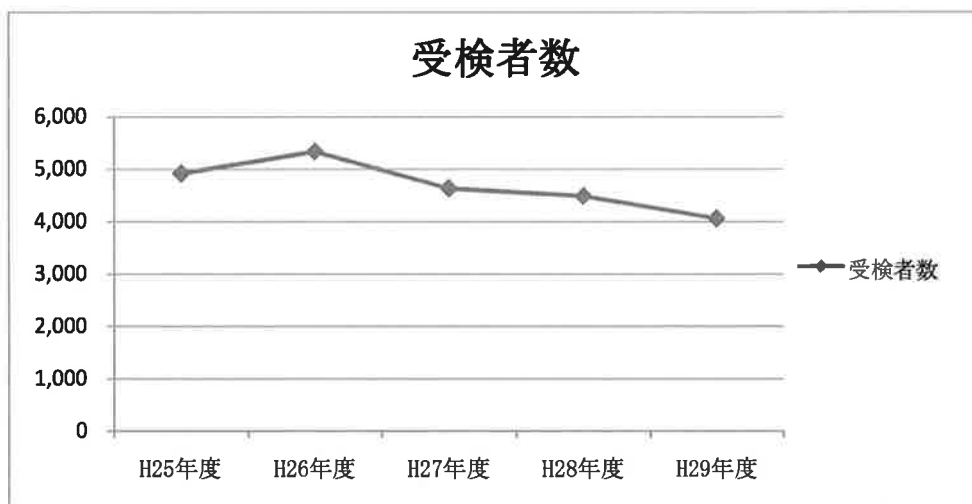
2) 実施状況

4,065人の検査を実施し、前年度に比べ429人(9.55%)の減少であった。

① 受検者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
受検者数	4,927	5,344	4,638	4,494	4,065



② 検査実績

区分	性別	RBC (赤血球数)		Hb (ヘモグロビン)		Ht (ヘマトクリット)	
		受診数	基準外	受診数	基準外	受診数	基準外
中学校	男	100	12	100	18	100	9
	女	190	37	190	17	190	21
高校	男	1,434	356	1,434	99	1,434	171
	女	2,341	367	2,341	233	2,341	353
計		4,065	772	4,065	367	4,065	554

3) 検査方法

静脈より採血し、全自動血球計数装置 (XE2100) でRBC (赤血球数)、Hb (ヘモグロビン)、Ht (ヘマトクリット) の値を測定する。

4. 心臓検診

1) 検診概要

目的： 心疾患児の発見とともに重症度を判定し、突然死等の発生の予防

対象： 学校保健安全法に基づく、小学校1年生、小学校4年生、中学校1年生、高等学校1年生及びその他の学年

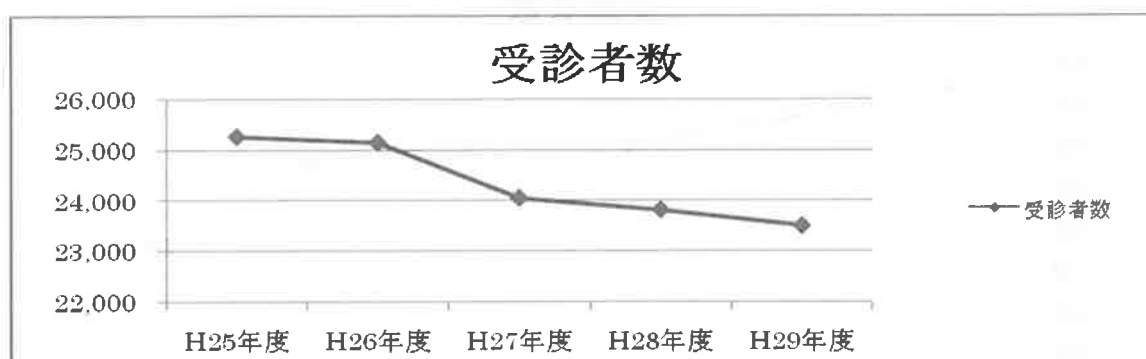
2) 実施状況

23,513人の検診を実施し、前年度に比べ336人(1.34%)の減少であった。
 有所見率は2.75%であった(医師会審査判読分は除く)。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
受診者数	25,272	25,156	24,062	23,829	23,513



② 検診実績

区分	受診者数	判 定		
		正常	有所見	有所見率
小学校	6,116	6,017	99	1.62
中学校	5,778	5,589	189	3.27
高校、大学	6,873	6,663	210	3.06
特殊学校	469	438	31	6.61
計	19,236	18,707	529	2.75

※ 医師会審査判読分(4,195人)を除く

3) 検診方法

心臓検診票と省略4誘導心電図+2点心音図を実施。一部の学校では標準12誘導心電図を実施。

県医師会解析センターで自動解析(一次判読)後、一次有所見者と検診票有点者をふるい分けし、市医師会心臓判定委員会、財団専門医師等で二次判読を実施し最終判定を行う。

5. 小児生活習慣病予防健診

1) 健診概要

目的：生活習慣病及び生活習慣病予備軍の発見

対象：小学校4年生と中学校1年生の生徒（1市のみ実施）

2) 実施状況：

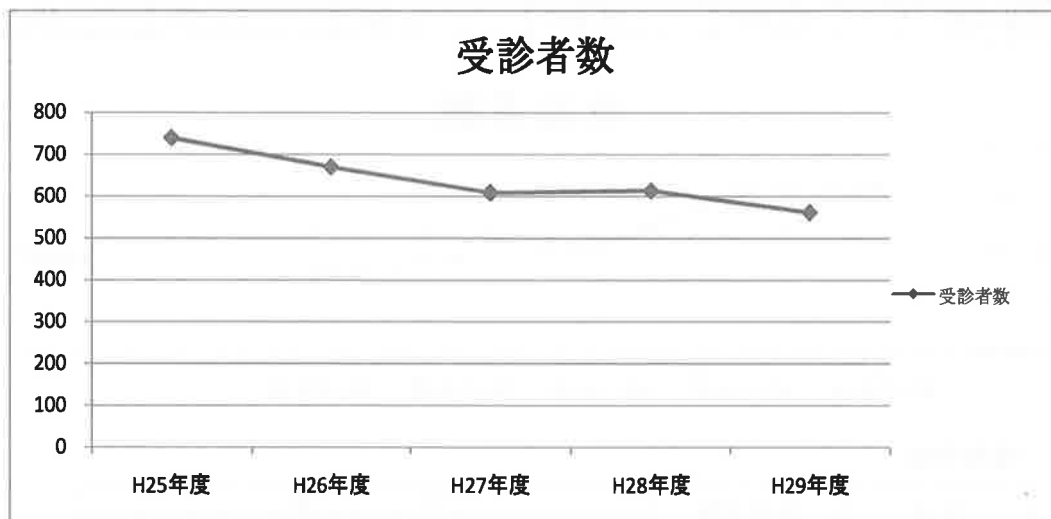
562人の健診を実施し、前年度に比べ52人（8.47%）の増加であった。

また、判定結果で何らかの管理を要する生徒は132人（23.49%）であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
受診者数	739	670	609	614	562



② 健診実績

区分	受診者数	管理区分										
		要医学的管理 (I)		要経過観察 (II)		要指導 (III)		管理不要 (IV)		正常 (N)		
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
小学校 4年生	男	147	6	4.1	13	8.8	22	15.0	67	45.6	39	26.5
	女	137	3	2.2	10	7.3	26	19.0	62	45.3	36	26.3
	計	284	9	3.2	23	8.1	48	16.9	129	45.4	75	26.4
中学校 1年生	男	146	2	1.4	4	2.7	12	8.2	84	57.5	44	30.1
	女	132	2	1.5	5	3.8	27	20.5	74	56.1	24	18.2
	計	278	4	1.4	9	3.2	39	14.0	158	56.8	68	24.5
合計	男	293	8	2.7	17	5.8	34	11.6	151	51.5	83	28.3
	女	269	5	1.9	15	5.6	53	19.7	136	50.6	60	22.3
	計	562	13	2.3	32	5.7	87	15.5	287	51.1	143	25.4

3) 健診方法

① 健診項目

小児生活習慣病予防健診調査票（家族歴、糖尿病の有無）、身体計測（肥満度の計算）、血中脂質検査、血圧測定

② 判定区分

健診各項目を小児生活習慣病基準値からの乖離度合で判定し、同時にその判定の組合せで5段階の総合判定を行う。

総合判定には専門医師が関与するとともに総合判定のランクに対応して指導（管理）区分を決定する。

管理区分	内容
I	要医学的管理
II	要経過観察
III	要指導
IV	管理不要
N	正常

(13) 先天性代謝異常等検査

1) 検査概要

目的：先天性代謝異常症等の早期発見

対象：新生児（原則として保護者の検査希望）

2) 実施状況

平成11年度より岡山県からの委託事業として実施しているが、平成18年度より高知県、平成20年度より鳥取県から委託を受け、平成21年度より政令指定都市への移行に伴い、岡山市から委託を受けている。

また平成24年度からタンデムマス検査が導入され対象疾患は従来の6疾患から19疾患に拡大し、一時的ではあるが埼玉県、愛媛県からの委託を受けた。

平成25年度からは島根県より3項目の委託を受けた。

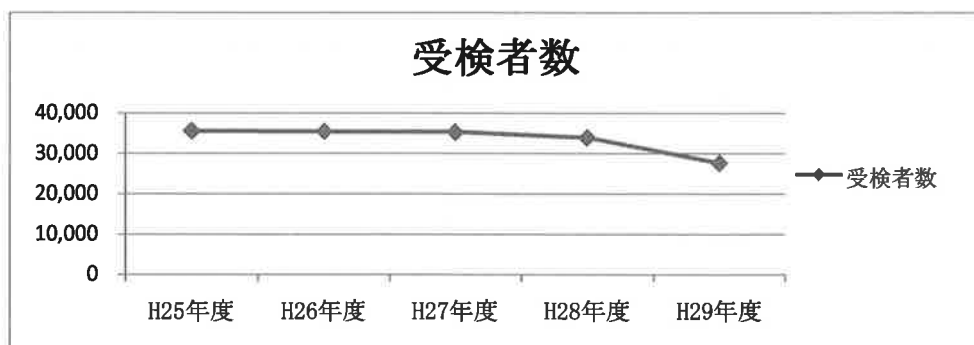
27,652人（初回検体数:26,161人、再採血による再検査数:1,491人）の検査を実施し、前年度に比べ6,344人（18.66%）の減少であった。

確定患児は18人（0.07%）であった。

① 受検者数の年次推移

(人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
受検者数	35,659	35,543	35,357	33,996	27,652



② 検査実績

対象疾患	初回検体数	要再検査	要精検	患児件数
先天性甲状腺機能低下症	26,161	433 (1.66%)	59 (0.23%)	16 (0.06%)
先天性副腎過形成症		326 (1.25%)	38 (0.15%)	2 (0.01%)
ガラクトース血症		75 (0.29%)	4 (0.02%)	0 (0.00%)
アミノ酸代謝異常症	25,887	10 (0.04%)	4 (0.02%)	0 (0.00%)
有機酸代謝異常症		42 (0.16%)	6 (0.02%)	0 (0.00%)
脂肪酸代謝異常症		34 (0.13%)	6 (0.02%)	0 (0.00%)
低出生体重児と検体不備の2回採血		589 (2.25%)		

3) 検査方法

出生から4～6日目に、新生児の踵から4スポットの血液をろ紙に採血する。
よく乾燥されたものを検体とする。

ガラクトース血症はマイクロプレート酵素法及びボイトラー法で検査。

先天性甲状腺機能低下症・先天性副腎過形成症はELISA法で検査。

アミノ酸代謝異常症、有機酸代謝異常症、脂肪酸代謝異常症はタンデムマス法で検査する。

2 環 境 部

(1) 飲料水検査

1) 検査概要

目的・・・水道事業、食品製造、飲用井戸、建築物等における安全な飲み水の確認
対象・・・自治体、事業所、建築物管理者、貯水槽清掃業者及び個人

2) 実施状況

9,806 件検査を受託し、前年度と比較し 55 件減少した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
11,163	11,236	11,239	11,307	11,228	10,250	9,861	9,806

② 平成 29 年度の検査実績

(件)

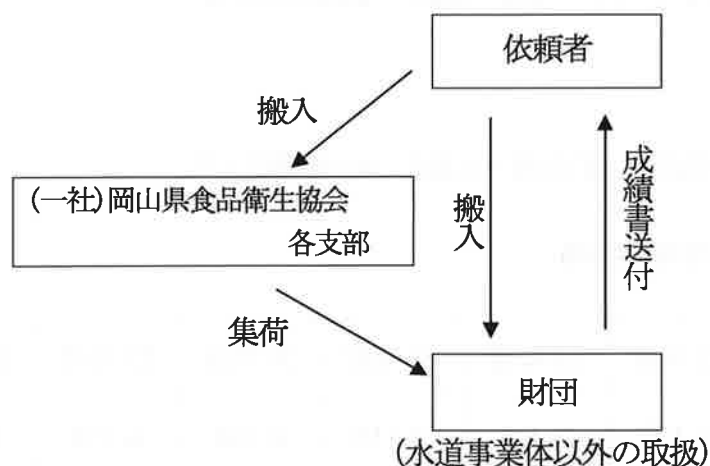
業務分類	検査種別	件数
水道事業	基準項目	599
	省略不可項目	652
	簡易項目	2,350
	水質管理目標設定項目	174
	農薬類	734
	クリプトスポリジウム	565
	クリプトスポリジウム汚染指標菌	1,660
ビル管理関係	16項目	196
	11項目	120
	消毒副生項目	167
食品衛生関連	食品製造用水	91
飲用井戸水等	化学・細菌検査	3,304

3) 検査方法

厚生労働省告示第 261 号、上水試験方法、食品衛生法等による試験法で各検査項目を測定する。

4) 検査システム

検体の搬入は、依頼者が直接財団に持参するか、(一社)岡山県食品衛生協会の各支部へ搬入したものを職員が集荷する。水道事業体については職員が現地訪問により採取し、搬入後、理化学的検査と生物学的検査の部門別に検査を行い、検査成績書を発行する。



5) 登録検査機関

水道法に基づき指定検査機関として認可されていたが、同法の改正により平成16年2月27日から厚生労働大臣が認可する登録検査機関に移行した。

また、ビル管理法に基づく水質検査は昭和47年より登録検査機関となっている。

(2) 簡易専用水道検査

1) 検査概要

目的・・・建築物等における安全な飲み水の確保
 対象・・・マンション・学校・病院・事務所ビル等

2) 実施状況

2,175 検査を受託し、前年度と比較し148 件増加した。

① 受託検査数の年度別推移

								(件)
22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
2,125	2,127	2,104	2,118	2,125	2,111	2,027	2,175	

② 平成29年度の検査実績

簡易専用水道		小規模 貯水槽水道他	総件数
現場検査	書類検査		
1,750	263	162	2,175

③ 平成29年度の不適合率

簡易専用水道	小規模 貯水槽水道	全 体
31.5%	28.2%	31.3%

※不適合率とは「良好」以外と判定された施設の割合

④ 簡易専用水道等の不適合率の年度別推移

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
43.5%	44.0%	43.0%	38.2%	36.4%	33.3%	30.9%	31.3%

3) 検査方法

水道法、施行規則、厚生労働省告示、岡山県、岡山市及び倉敷市簡易専用水道の取扱いに係る指導指針

4) 検査システム

検査実施については、設置者又は設置者の委託を受けた管理者等からの依頼により検査を行い、結果書を送付する。

5) 登録検査機関

水道法第34条2の第2項に基づく指定検査機関として昭和54年10月から検査を行っているが、同法の改正により平成16年3月31日から厚生労働大臣が認可する登録検査機関に移行した。

(3) 浄化槽法定検査

1) 検査概要

目的・・・事業所・店舗や家庭等の浄化槽放流水による公共用水域の水質の保全
 対象・・・自治体、浄化槽設置者又は管理者

2) 実施状況

7条検査 852 件、11条検査 49,561 件を合わせて 50,413 件の検査を受託し、前年度と比較し 103 件減少した。

① 法定検査数の年次推移

(件)

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
50,578	50,638	50,591	50,325	50,705	50,489	50,516	50,413

② 7条検査数の年次推移

(件)

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
1,237	1,269	1,118	1,062	1,201	1,041	904	852

③ 11条検査数の年次推移

(件)

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
49,341	49,369	49,473	49,263	49,504	49,448	49,612	49,561

④ 平成29年度の検査判定内訳

(件)

判定	7条検査	11条検査		
			みなし 浄化槽	合併処理 浄化槽
適正	658	35,519	10,090	25,429
概ね適正	188	13,320	2,997	10,323
不適正	6	722	446	276
総件数	852	49,561	13,533	36,028

3) 検査方法

浄化槽法、施行規則、環境省告示、岡山県及び岡山市要綱

4) 検査システム

○7条検査（設置後検査）

浄化槽設置者（又は施工業者）は、浄化槽設置前に設置票、7条検査依頼書に検査料金を添えて岡山県浄化槽施工協同組合の窓口へ提出する。

提出された書類、検査料金は後日検査機関に送付され、7条検査の実施計画を立てる。

検査料金は、浄化槽の規模にかかわらず1件について8,000円（非課税）と定めている。

○11条検査（年1回定期検査）

浄化槽設置者（管理者）は、保守点検業者、清掃業者及び指定検査機関と一括契約方式により委託契約を結び、検査料金は保守点検業者の協力により保守点検料金に含めて徴収され、法定検査実施後に検査機関に支払われる。

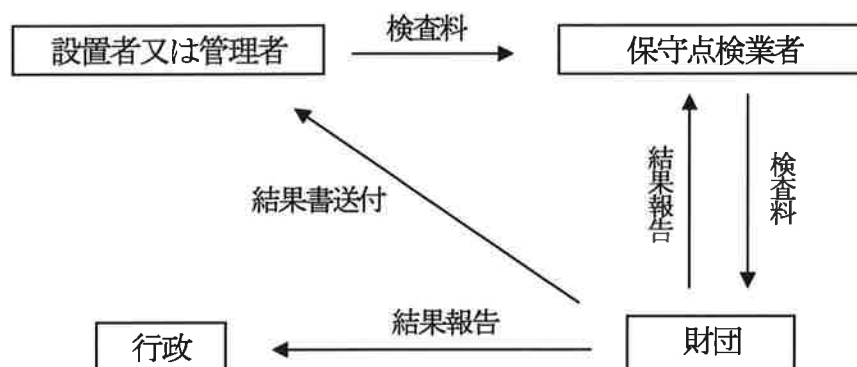
検査料金は、浄化槽の規模にかかわらず1件について5,700円（非課税）と定めている。

○検査について

検査は、外観検査、水質検査、書類検査について行い、設置者（管理者）に検査結果書を送付する。

検査結果で「不適正」と判定された浄化槽並びに未保守浄化槽については、関係行政機関、関係団体に報告し改善指導を要請している。

また、保守点検業者及び施工業者にも改善策を講ずるべく不適正の内容を報告している。



5) 指定検査機関

昭和61年4月に浄化槽法第57条の規定に基づく岡山県知事指定浄化槽検査機関として指定を受け検査を開始する。

(4) 岡山県浄化槽水質管理実施要綱に基づく検査

1) 検査概要

目的・・・事業所、店舗、家庭等の浄化槽放流水の水質状況確認、及び浄化槽の浄化機能検査

対象・・・浄化槽設置者又は管理者

2) 実施状況

6,411 件検査を受託し、前年度より 57 件増加した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
7,262	7,324	7,066	6,702	6,694	6,349	6,354	6,411

② 検査実績

(件)

29 年度	機能検査	放流水検査
総検査項目数	649	5,762

③ 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数
pH	6,203
BOD	5,632
COD	3,698
SS	3,488
ノルマルヘキサン抽出物質	717
全窒素	3,002
全りん	3,014
塩化物イオン	4,453
透視度	4,453
大腸菌群数	2,257
外観	6,160
臭気	4,453

3) 検査方法

衛浄第 34 条、JIS K 0102 工場排水試験法、環境省告示等による試験方法で検査項目を測定する。

4) 検査システム

検査実施については、対象施設の管理者からの依頼により検査を行い、結果書を送付する。

5) 指定検査機関

昭和 61 年 4 月に浄化槽法第 57 条の規定に基づく岡山県知事指定浄化槽検査機関として指定を受け検査を開始する。

(5) 産業排水検査

1) 検査概要

目的・・・事業所等による排水の汚染状況確認

対象・・・自治体、事業所、ホテル、老健施設等

2) 実施状況

2,516 件検査を受託し、前年度より 118 件減少した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
2,798	2,550	2,969	2,251	2,211	2,142	2,634	2,516

② 検査実績

(件)

29 年度	理化学項目検査	微生物項目検査
総検査項目数	14,473	886

③ 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数
pH	1,542
BOD	1,631
COD	1,908
SS	1,483
MLSS	37
ノルマルヘキサン抽出物質	1,460
全窒素	1,747
全りん	1,739
塩素イオン	166
カドミウム	139
鉛	146
六価クロム	147
シアン化合物	106
有機リン	76
ヒ素	121
総水銀	127
アルキル水銀	72
PCB	68
六価クロム溶出試験	42
大腸菌群数	880

3) 検査方法

JIS K 0102 工場排水試験法、環境省告示等による試験方法で検査項目を測定する。

4) 検査システム

検査実施については、官公庁及び事業場等の管理者からの依頼により検査を行い、結果書を送付する。

5) 登録検査機関

岡山県知事登録の計量法第 107 条の計量証明事業所

(6) 河川水検査

1) 検査概要

目的・・・河川、海域及び湖沼等における自然環境の保全と安全な生活環境の確保

対象・・・自治体、事業所等

2) 実施状況

1,074 件検査を受託し、前年度より 78 件減少した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
2,035	1,617	1,847	1,512	1,567	1,473	1,152	1,074

② 検査実績

(件)

29 年度	理化学項目検査	微生物項目検査
総検査項目数	12,431	1,362

③ 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数
pH	2,016
BOD	1,416
COD	1,524
DO	1,859
SS	1,594
ノルマルヘキサン抽出物質	348
全窒素	1,083
全りん	1,032
塩素イオン	284
カドミウム	127
鉛	141
六価クロム	119
シアン化合物	121
ヒ素	172
総水銀	126
アルキル水銀	106
PCB	113
農薬 (ゴルフ場等)	233
大腸菌群数	1,110
大腸菌数	252

3) 検査方法

JIS K 0102 工場排水試験法、環境省告示等による試験方法で検査項目を測定する。

4) 検査システム

検査実施については、官公庁及び事業場等の管理者からの依頼により検査を行い、結果書を送付する。

5) 登録検査機関

岡山県知事登録の計量法第 107 条の計量証明事業所

(7) 食品検査

1) 検査概要

目的・・・安心・安全な食品の確保、飲食物に起因する衛生上の危害防止
 対象・・・自治体、食品製造業者、食品販売店及び給食事業所等

2) 実施状況

7,800 件検査を受託し、前年度と比較し 1,157 件増加した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
衛生検査	6,172	5,828	5,763	5,410	6,414	6,731	6,643	7,800
輸入食品 自主検査等	65	48	68	57	43	56	32	26

② 検査実績

(件)

29年度	理化学的検査項目	細菌学的検査項目
検査項目数	2,917	18,154

③ 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数	
	衛生検査	輸入食品自主検査等
栄養成分等検査	1,288	10
添加物等検査	198	32
重金属類の検査	446	
農薬等検査	84	
器具容器包装の検査	117	3
清涼飲料水・ミネラルウォーター	99	
細菌数	4,461	
大腸菌群	3,853	
サルモネラ	1,979	
黄色ブドウ球菌	2,836	
腸炎ビブリオ	426	
腸管出血性大腸菌	264	
発育しうる微生物	34	6
ノロウイルス	473	

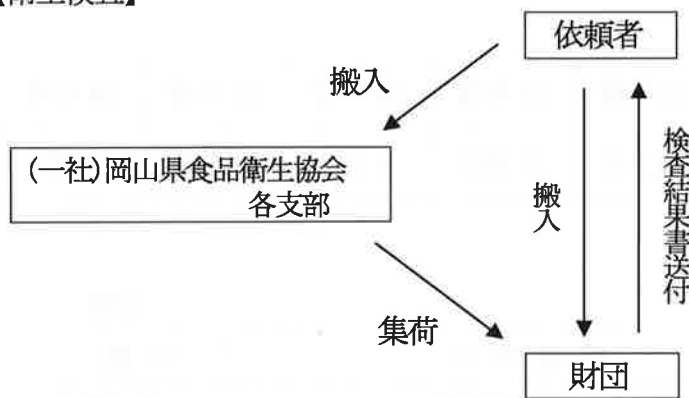
3) 検査方法

食品衛生法等に基づく公定法又は公定法に準拠した方法により、国の認可を受けた「検査実施標準作業書」等に基づき行う。

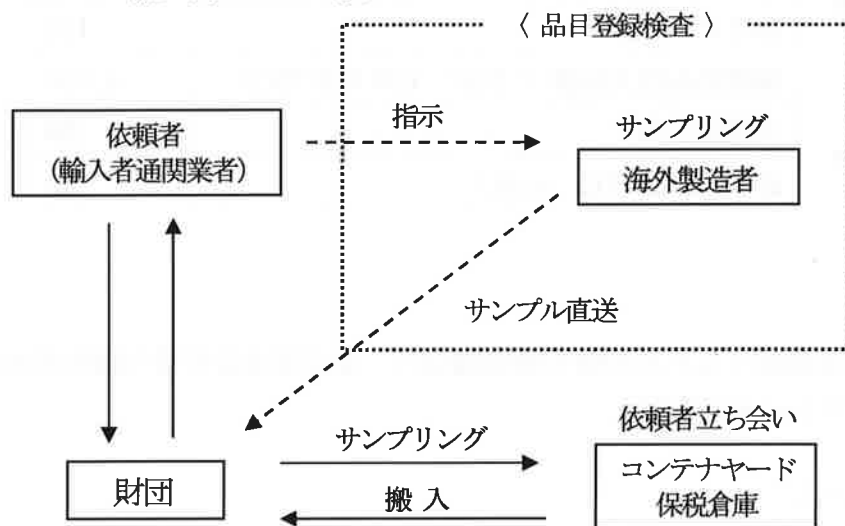
4) 検査システム

検査実施については、依頼者が直接財団に持参するか、(一社)岡山県食品衛生協会の各支部へ搬入したものを職員が集荷する。また、輸入食品等自主検査等は、登録検査員が現場に出向きサンプルを採取し、搬入後、理化学的検査と細菌学的検査の検査を行い、検査結果書を送付する。

【衛生検査】



【製品検査・輸入食品等自主検査】



5) 登録検査機関

食品衛生法に基づき昭和63年3月10日付けで認可されていた「指定検査機関」が同法の改正により平成16年2月27日から厚生労働大臣が認可する「登録検査機関」に移行し、平成21年2月27日付けで厚生労働大臣から登録の更新を受けている。また、平成21年6月に食品衛生法第26条3項の追加登録を受け、輸入食品等命令検査の受託を開始した。

(8) 腸内細菌検査等

1) 検査概要

目的・・・腸内細菌に起因する衛生上の危害防止

対象・・・食品製造業者及び給食事業所等

2) 実施状況

7,985 件検査を受託し、前年度より 51 件増加した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
10,297	10,507	10,244	9,033	8,742	8,523	7,934	7,985

② 主な項目の検査数

(件)

	検査項目	件数
腸内細菌	赤痢・腸チフス・パラチフス	8,100
	サルモネラ	8,073
	腸炎ビブリオ	121
	腸管出血性大腸菌（0157、026 等を含む）	8,020
砂場の砂	犬猫回虫卵	139
	砂場の細菌（E. coli）	40

3) 検査方法

食の安全を確保するための微生物協議会の「食品関連従事者の腸管系病原菌保菌者検査マニュアル」に基づき行う。

4) 検査システム

検査実施については、依頼者が直接財団に持参するか、（一社）岡山県食品衛生協会の各支部へ搬入したものを職員が回収、搬入後、検査を行い、検査結果書を送付する。

(9) その他の検査

1) 検査概要

目的・・・プール、温泉等の衛生管理の保全とレジオネラ症の発症防止
対象・・・学校、温泉施設等

2) 実施状況

2,616 件検査を受託し、前年度より 399 件増加した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
1,470	1,294	1,316	2,403	1,874	2,387	2,217	2,616

② 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数
プール水検査 (化学・細菌)	216
プール水検査 (トリハロメタン)	484
温泉検査	19
室内の化学物質検査	1
浴槽水検査	395
レジオネラ属菌検査	981

3) 検査方法

「遊泳用プールの検査基準について」及び「学校環境衛生の基準」に示された内容に沿って、定められた項目及び検査方法で検査を実施する。

温泉法、温泉法施行規則、鉱泉分析法指針に則り実施する。

室内空气中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について実施する。

4) 検査システム

検査実施については、依頼者が直接財団に持参するか、(一社)岡山県食品衛生協会の各支部へ搬入したものを職員が回収、あるいは職員が現場に出向きサンプルを採取し、搬入後、検査を行い、検査結果書を送付する。

5) 登録検査機関

岡山県知事登録温泉分析

3 精度管理室

1) 環境部における ISO9001 の運用状況

環境部河川水・排水検査部門は、顧客サービスの向上と品質マネジメントシステムの強化を目指す目的から、平成 14 年 10 月に（一財）日本品質保証機構（JQA）から ISO9001 の認証を取得した。

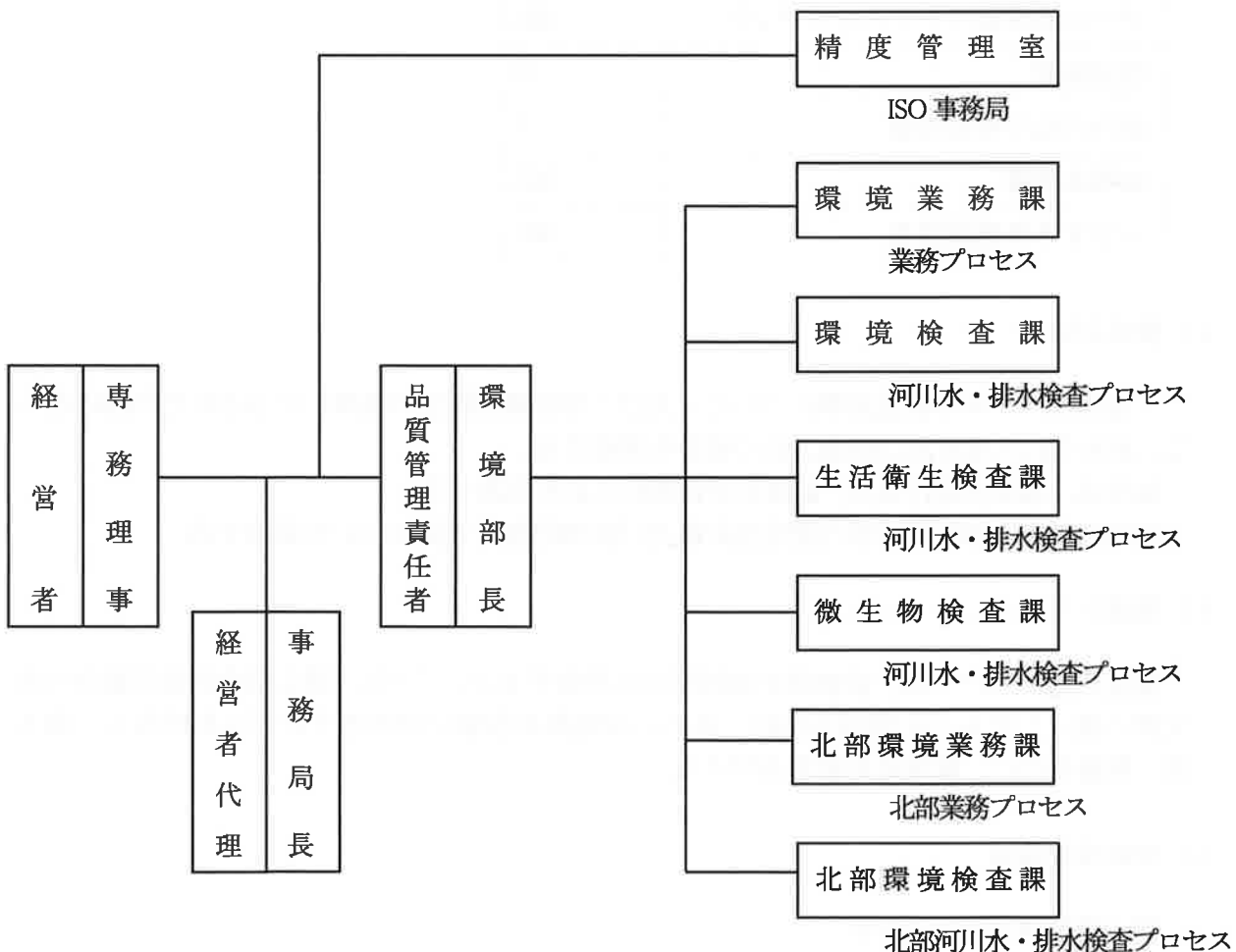
年 1 回の定期審査、3 年毎の更新審査を受け、認証を維持しており、平成 29 年 10 月に ISO9001:2015 へ移行した。

なお、計画的に年 2 回の内部監査と年 1 回の外部審査を実施し、年度末には経営者によるマネジメントレビューで品質マネジメントシステムの有効性評価を行い、継続的改善に繋げている。

2) ISO 対象組織と責任体制

経営者に専務理事、その代理者を事務局長とし、品質管理責任者（環境部長）を中心に品質管理体制の強化及び品質管理の継続的改善に努めているが、精度管理室はその事務局の役割を担っている。

平成 29 年度の ISO9001 対象部門の体制



3) 水道 GLP 体制の強化及び取り組み状況

環境部飲料水検査部門は、平成 16 年 3 月より水道法第 20 条第 3 項に基づく登録検査機関として登録を受け、平成 21 年 1 月に水質検査機関による水道水水質検査結果の信頼性確保を目的とした（公社）日本水道協会の水道水質検査優良試験所規範（水道 GLP）の認定を取得している。

精度管理室では、その信頼性確保部門として、水道 GLP 品質管理マニュアルに従い検査が適切に実施されるよう、計画的な内部・外部精度管理調査、内部監査やマネジメントレビューを行うなど検査精度の維持向上に努めている。

また、毎年厚生労働省が行っている水道水質検査の統一精度管理調査においては、連続して最高の評価を受けている。

4) 簡易専用水道 GLP 体制の強化及び取り組み状況

環境部簡易専用水道検査部門は、平成 16 年 3 月より水道法第 34 条の 2 第 2 項に基づく登録検査機関として登録を受けており、検査結果の信頼性を確保するためのシステムとして GLP 体制を整備している。

精度管理室では、その信頼性確保部門として、簡易専用水道業務規定に従い検査が適切に実施されるよう、計画的な内部・外部精度管理調査、内部監査やマネジメントレビューを行うなど、検査精度の維持向上に努めている。

5) 食品 GLP 体制の強化及び取り組み状況

環境部食品検査（理化学的検査区分及び細菌学的検査区分）は、平成 16 年 2 月より食品衛生法第 4 条第 1 項に基づく登録検査機関として登録を受け、試験検査結果の信頼性を確保するシステムとして GLP 体制を整備している。

精度管理室では、その信頼性確保部門として、登録検査機関業務規程に従い検査が適切に実施されるよう、計画的な内部・外部精度管理調査、内部点検や記録の管理を行うなど、検査精度の維持向上に努めている。

また、毎年中国四国厚生局による立ち入り検査が実施され、その際の指摘事項については速やかに改善措置を講じている。

4 食鳥検査事業

「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」に基づき、岡山県知事の指定検査機関として、県内の大規模食鳥処理場 5 施設（ブロイラー処理 2 施設、成鶏処理 3 施設）に、13 名の検査員（獣医師）を派遣し、高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）をはじめ各種鶏病等の検査の実施により、検査不合格の食鳥の廃棄措置等を通じ安全な鶏肉流通の確保に努めた。

(単位：千羽)

区分 \ 年度	平成28年度	平成29年度	増減 (%)
食鳥検査羽数	16,183	16,910	104.5

1) 検査概要

目的・・・疾病罹患食鳥肉を排除し、食鳥肉に起因する衛生上の危害の発生を防止する。

対象・・・県内の大規模食鳥処理場（年間30万羽を超えて処理する施設）5施設。

(内訳：ブロイラー処理2施設、成鶏処理3施設)

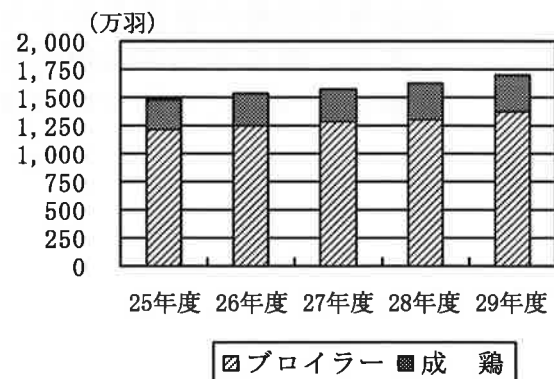
2) 実施状況

16,909,945 羽の検査を実施し、前年度比 104.5%であった。

内訳はブロイラー13,739,362 羽（前年度比 105.4%）、成鶏 3,170,583 羽（前年度比 100.8%）であった。

① 検査羽数の推移

年度	ブロイラー	成鶏	合計
25年度	12,112,752	2,796,706	14,909,458
26年度	12,430,314	2,889,068	15,319,382
27年度	12,795,799	2,926,467	15,722,266
28年度	13,038,166	3,144,599	16,182,765
29年度	13,739,362	3,170,583	16,909,945



② 検査成績

(平成 29 年度)

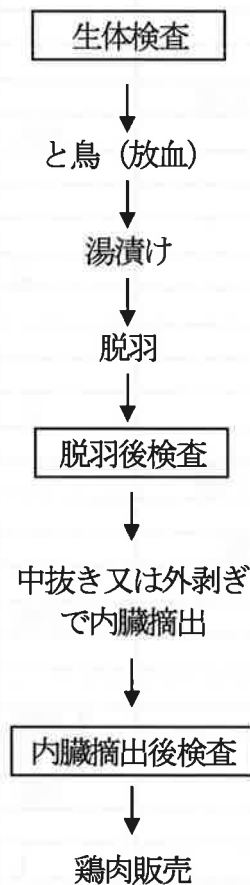
検査項目		廃棄区分			
		禁 止	全部廃棄	一部廃棄	
疾病別羽数	ウイルス・クラミジア類	高病原性鳥インフルエンザ			
		鳥インフルエンザ			
		鶏痘			
		伝染性気管支炎			
		伝染性喉頭気管炎			
		伝染性ファブリキウス嚢病			
		ニューカッスル病			
		鶏白血病			
		封入体肝炎			
		マレック病			
	その他				
	細菌症	鶏マイコプラズマ病			
		大腸菌症	654	8,961	
		伝染性コリーザ			
		サルモネラ病			
		鶏結核病			
		ブドウ球菌症	2	25	
	その他				
	その他	毒血病			
		膿毒症			
		敗血症	11	86	
		豚丹毒菌病			
		ロイコチトゾーン病			
		真菌症			
		原虫症（トキソ除）			
		寄生虫病			
		変性	4,215	15,125	30,515
		尿酸塩沈着症			
		水腫		14	4,021
		腹水症	7,920	22,039	
		出血	16	3,053	43,943
		炎症	202	3,818	304,536
	萎縮				
腫瘍	1	4,548	7,186		
臓器の異常・色形臭等		2			
異常体温					
黄疸	1	24			
外傷	3	609	13,978		
中毒諸症					
削瘦・発育不良	12,710	12,389			
放血不良	3,360	2,278			
湯漬過度		944			
その他		13,945	6		
合 計		29,095	87,860	404,185	
			521,140		

3) 検査方法

「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」に基づき、検査員（獣医師）が各処理場の従業員である食鳥処理衛生管理者と連携して検査を実施する。

4) 検査システム

鶏病の種類・程度等により「と鳥または解体禁止」、「全部廃棄」、「一部廃棄」に分類し処理される。



高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の検査は、疑わしい場合に簡易検査キットを使用して検査する。

5) 法律上の位置づけ

岡山県知事の指定検査機関である。（平成 29 年度より国から権限移譲）

5 附属病院

医療の提供

診療科は内科、呼吸器科、胃腸科、循環器科、放射線科、リハビリテーション科で、病床数126床で運営している。

呼吸器疾患の専門性を活かし肺結核、慢性呼吸不全、気管支喘息、肺がんなどの治療に取り組むとともに、気管支鏡検査をはじめとした確定診断や治療法の選択を行い、他の医療機関からの患者紹介に対応している。

また、病院が行う健康診断や財団内の人間ドック部門・健康診断部門・健康増進部門との連携により、脳卒中、がん、心臓病、糖尿病などの生活習慣病の早期発見、早期治療に努めるとともに、禁煙指導にも重点を置いており、ニコチン依存から逃れるための禁煙外来や啓発のための講師派遣も行っている。

(1) 外来状況

1) 概要

内科全般を広く診療し、特に呼吸器疾患に対する専門医の適切な診断・治療に取り組んでいる。

また、生活習慣病の早期発見、早期治療のため健康診断を実施し予防医療に努めている。

診療時間：平 日 9：00～12：00 13：30～17：00
土曜日 9：00～12：00（健康診断は行っていない）

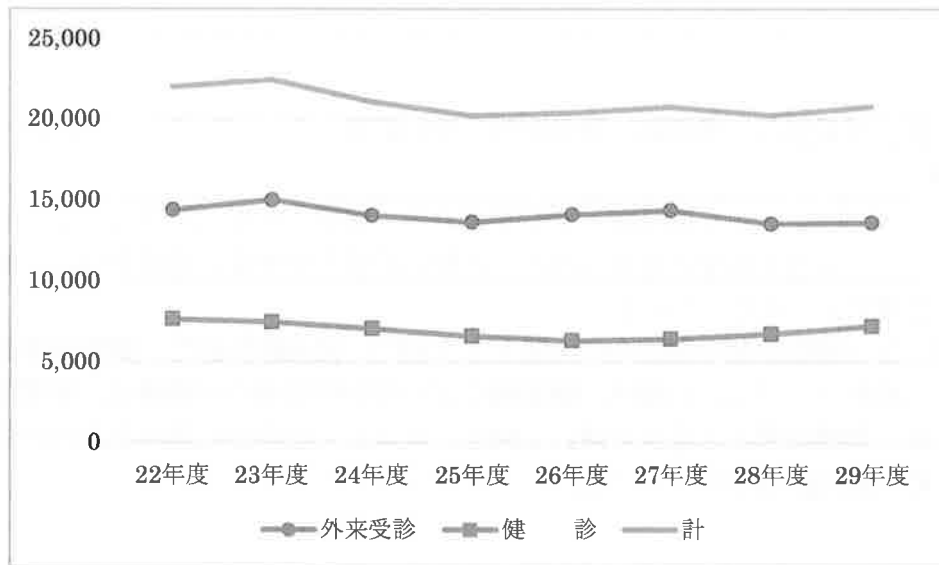
2) 状況

① 年度別外来受診・健診の状況

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
外来受診	14,387	15,016	14,044	13,652	14,112	14,366	13,539	13,612
健 診	7,612	7,451	7,044	6,584	6,304	6,400	6,715	7,189
計	21,999	22,467	21,088	20,236	20,416	20,766	20,254	20,801

(人)

② 外来患者年度推移



(2) 入院状況

1) 概要

呼吸器疾患の専門性や一般病棟と療養病棟の併設メリットを活かしながら、「信頼される医療の確保」、「心のかよう看護の推進」に取り組んでいる。

機能性と安全性を重視した医療設備により、専門的で人に優しい医療の提供を行っている。

病棟
看護体制

結核46床 (内休止26床) 一般40床 療養40床
2交代制

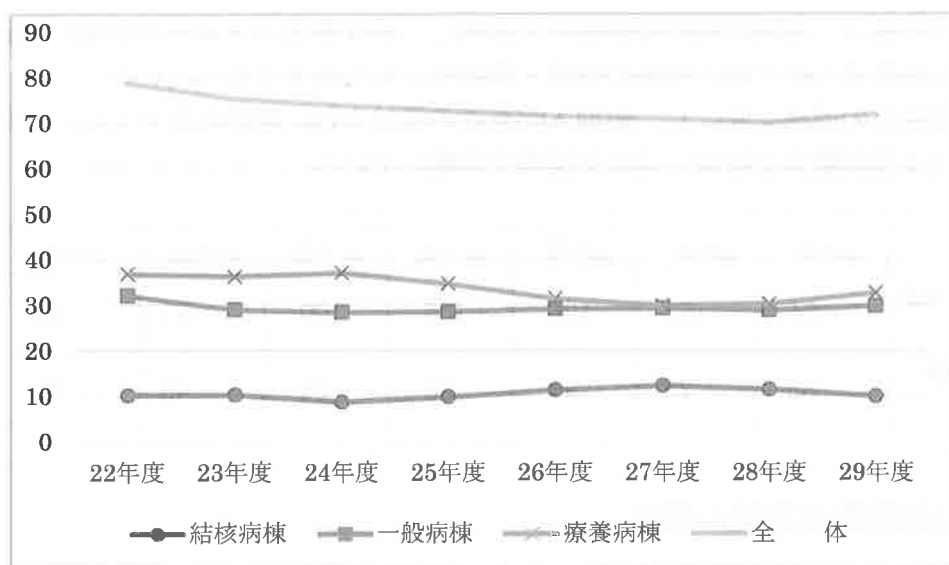
2) 状況

① 年度別入院患者の状況 (1日当たりの患者数)

(人)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
結核病棟	10.1	10.2	8.6	9.7	11.2	12.1	11.3	9.8
一般病棟	32.0	28.9	28.3	28.4	29.0	29.1	28.7	29.6
療養病棟	36.8	36.2	37.0	34.6	31.3	29.7	30.1	32.5
全体	78.9	75.4	73.9	72.7	71.5	70.9	70.1	71.9

② 入院患者年度推移



(3) リハビリテーション

各種リハビリ機器を備えた訓練室と理学療法士による専門的リハビリにより、QOLを高めるとともに機能回復に努めている。

本院は、呼吸器の専門病院でもあるため、COPDなど呼吸器疾患の患者に呼吸方法の指導や運動療法など、在宅での自己管理についても指導している。

(4) 先進の医療機器による検査

早期発見、早期治療のため、電子内視鏡、超音波断層装置、CT、MRIを活用し、的確な診断のもとに治療を行っている。

(5) 安全・安心な患者満足度の高い医療の提供

医療安全管理委員会、感染予防対策委員会などの各委員会の活性化を図り、安全・安心な医療サービスの提供に努めている。

また、小集団活動で病棟の清潔な環境確保等に取り組むとともに、高齢者にも食べやすく美味しいソフト食の提供など調理方法の工夫を行っている。

(6) 地域連携の推進

地域連携室を設け、地域の病院や診療所と連携し、紹介患者のスムーズな受け入れに努めており、入院患者の約7割が地域の病院・診療所からの紹介となっている。

また、開業医との連携を密にし、短期入院患者の受け入れに努めるとともに、平成22年度から退院支援調整室を設置し退院支援等を実施している。

(件)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
退院支援計画書 作成件数	64	62	126	106	100	71	80	81
介護支援連携 指導件数	85	72	94	80	54	49	51	57

(7) 結核医療連携拠点病院の指定

平成25年2月に岡山県から結核診療連携拠点病院に指定され、結核患者への高度医療提供、研修会の開催、医療機関からの相談等を行っている。

相談件数

(件)

相談機関	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
病院	6	31	36	51	64
診療所	1	6	12	14	12
高齢者施設		3	3		
保健所		5	4	3	
大学、学校		1	1		2
その他		8	2	8	
計	7	54	58	76	78

※25年度は10月から

(8) 指導・相談

1) 医療相談

医療ソーシャルワーカーを中心に、入院相談や退院支援を行うとともに、地域医療機関や老健・介護保健施設との連携に努めている。

また、患者サポート体制の充実に取り組み、入院、外来患者の心理的・経済的な相談・支援に取り組んでいる。

2) 服薬指導

薬剤師が正しい薬の知識をわかりやすく説明している。また、症状にあった正しい服薬について指導を行っている。

3) 栄養指導

管理栄養士が個人の病状にあった、実行可能で長続きする食事療法の指導を行っている。

服薬・栄養指導件数

(件)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
服薬指導	623	585	558	545	702	642	247	451
栄養指導	218	353	339	381	527	554	621	595

(9) 財団各部門との連携

人間ドック、保健部、南部健康づくりセンターと連携し、地域住民の生活習慣病予防対策に取り組んでいる。

また、糖尿病教室を開催し、地域の方々の健康づくりに取り組んでいる。

	開催日	参加者数	講演内容
第5回	30. 3. 16	8人	・食後高血糖ってなに？ ～食後の血糖値について一緒にかんがえてみませんか？～

(10) 難病相談・支援事業

岡山県から「岡山県難病相談・支援センター業務」を受託し（平成16年10月～）、難病患者やその家族からの療養上の悩みや不安、就労等に関する相談に対応している。

相談件数

(件)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
電話相談	591	736	819	955	799	561	722	609
面接相談	167	182	196	199	146	150	250	177
メール相談	87	120	208	165	114	72	102	58
合計	845	1,038	1,223	1,319	1,059	783	1,074	844

交流会、研修会の開催

定例患者交流会等（平成22年度 29回、平成23年度 28回、
平成24年度 28回、平成25年度 29回、
平成26年度 29回、平成27年度 30回、
平成28年度 31回、平成29年度 30回）

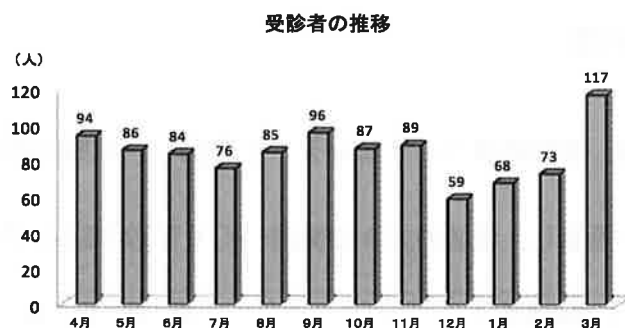
6 南部健康づくりセンター

(1) 健康増進部門

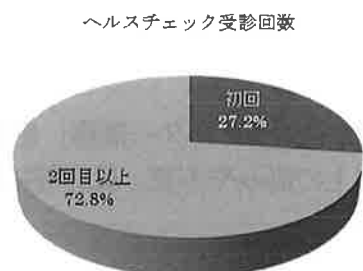
1. ヘルスチェックの状況

1) 受診者の推移

ヘルスチェック受診者は年間1,014人、1ヵ月平均85人であった。

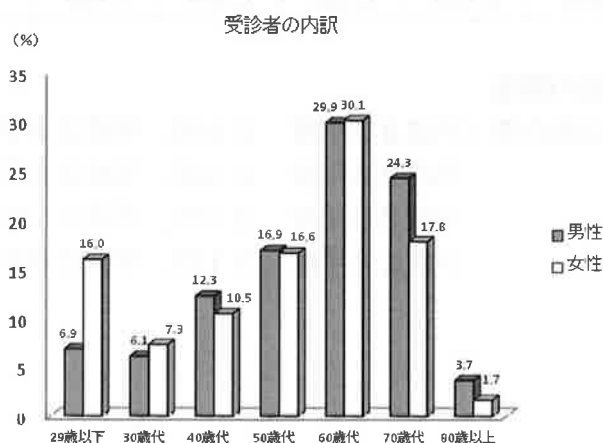


ヘルスチェックの受診回数は、初回が27.2%、2回目以上が72.8%であった。

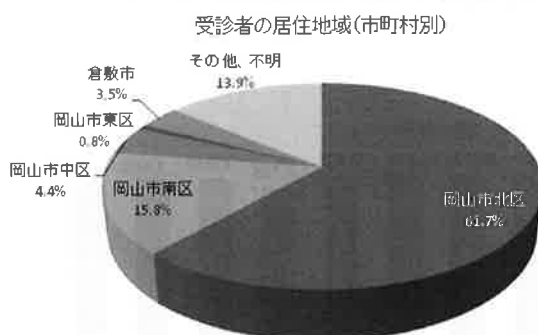


2) 受診者の内訳

ヘルスチェック受診者の内訳を性別で見ると男性が40.4%、女性が59.6%であった。年代別で見ると男性、女性ともに60歳代が最も多かった。

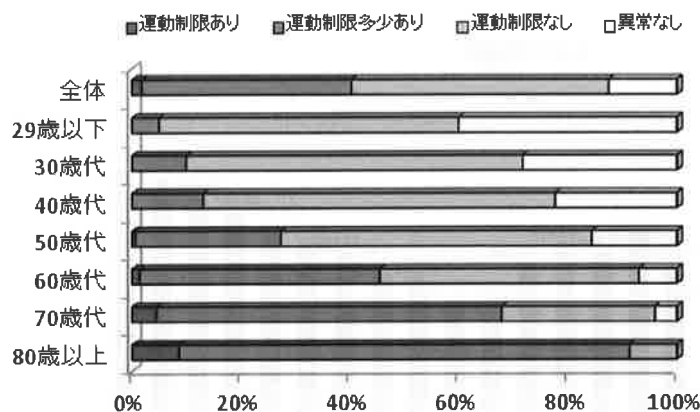


ヘルスチェック受診者の居住地を市町村別にみると、全受診者のうち 82.7%が岡山市に在住し、ついで倉敷市が多かった。



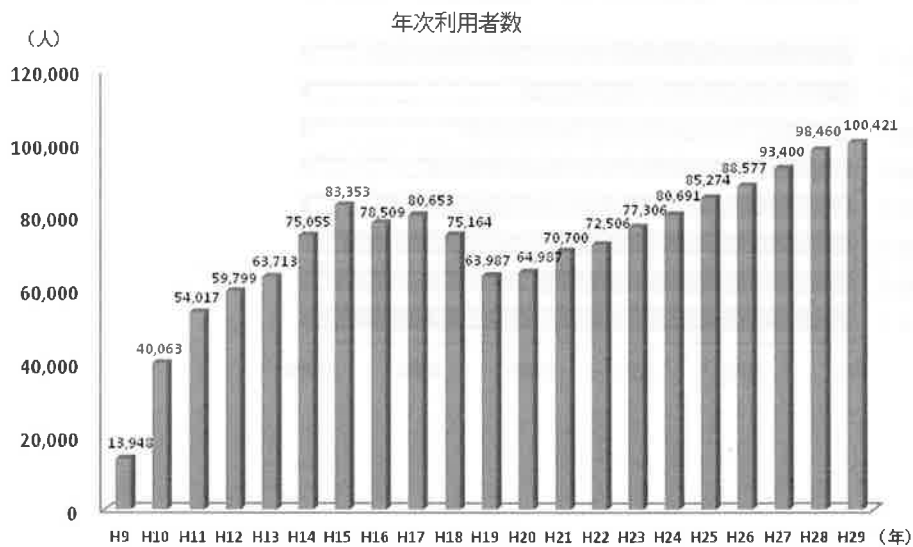
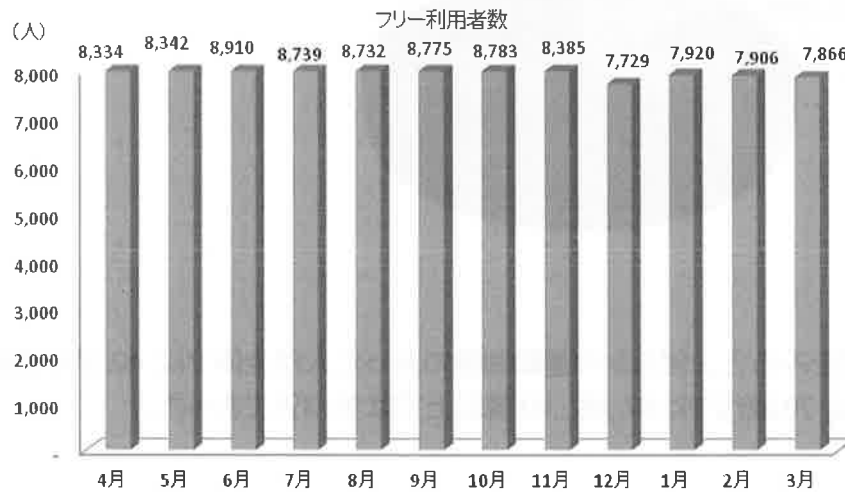
運動制限の程度をみると、何らかの運動制限のあった人は全体では 40.3%であったが、60 歳代では 45.5%、70 歳代では 67.8%、80 歳以上では 91.3%であった。

受診者の運動制限



2. 施設自由（フリー）利用状況

施設フリー利用者数は年間100,421人、1ヶ月平均8,368人、1日平均331人であった。前年度と比較すると、年間利用者数は1,961人の増加となった。



3. お手軽教室

1) 教室内容

平成 29 年度は、計 76 教室を開講した。

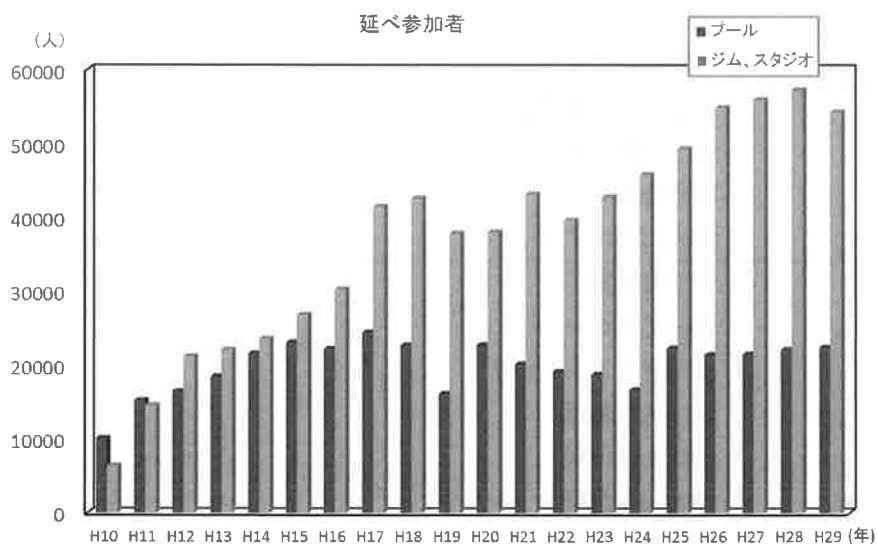
週あたりのお手軽教室開講数（平成 29 年 11 月現在）

水泳	超初級	2
	初級（週の泳法）	4
	初級・中級（週の泳法）	2
	初級・中級（クロール）	1
	中級（週の泳法）	3
	中上級（週の泳法）	1
	中上級（インターバル）	2
	ステップアップ四泳法中上級	1
	上級（週の泳法）	1
	スキルアップ四泳法上級	1
	水中運動	膝腰ゆっくり水中運動
膝腰スッキリ水中運動		1
ひきしめ水中運動		1
アクアサーキット		1
アクアビクス		3
エンジョイアクア		1
エアロビックダンス	フラエアロ	1
	シンプルエアロ	1
	かんたんエアロ	2
	やさしいエアロ	3
	ちょっとがんばるエアロ	3
	オリジナルエアロ	3
	なかなかエアロ	2
	がんばるエアロ	1
ジム	ラジオ体操	2
	ゆっくりボール	1
	すっきりストレッチ	1
	スッキリ体操	1
	おまかせ体操	1
	すわって健脚ストレッチ	1
	すわって健脚体操	1
	すわってスッキリ体操	1
	すわってルンルンビクス	1
	元気健脚サーキット	1
	やさしいステップ	1
	エンジョイステップ	1
	ダンベルサーキット	1

	ひきしめボディ	2
	ひきしめサーキット	1
	レッツジョギング	1
太極拳	はじめての太極拳	1
	太極拳	1
その他	ストレッチポール	2
	マットオリジナル	1
	ストレッチヨガ	1
	オリジナルヨガ	1
	リラックスヨガ	1
	リフレッシュヨガ	1
	パワーヨガ	1
	シェイプヨガ	1
	バレトン or ポル・ド・ブラ	1
	オリジナルヨガ or ピラティス	1
	ピラティス	1
	エンジョイフラ	1
	アルティメットボクシング	1

2) 参加者の推移

今年度のお手軽教室の延べ参加者数は、76,673 人であった。プール教室の延べ参加者数は22,407 人と、全体の約3割であった。



4. 健康づくり栄養講座及び外部講師料理教室

調理実習と健康に関する講話により、正しい情報の提供と健康に関する知識の普及を行いながら食生活の改善を図るとともに、旬の食材の良さや季節の料理を伝える場として健康づくり栄養講座と初心者のための栄養講座を開催した。また、パンやお菓子作りの技術や目新しいおもてなしメニューを学ぶ場として外部講師による料理教室を開催した。

健康づくり栄養講座は、全12回の開催で延べ149名の参加者、初心者のための栄養講座は、全12回の開催で延べ127名の参加者があった。外部講師による料理教室は、全6回の開催で延べ50人の参加があった。

1) 健康づくり栄養講座

【前期】

日時	テーマ	講話内容	参加人数(合計)
平成29年4月12日	ヘルシーおいしいイタリアン	効果的なダイエットについて	14
平成29年4月14日			8
平成29年6月14日	ハーブ料理を楽しもう	ハーブの効能について	13
平成29年6月16日			7
平成29年8月18日	ヘルシー大豆料理	大豆製品について知ろう	16
平成29年8月23日			10

【後期】

日時	テーマ	講話内容	参加人数(合計)
平成29年10月11日	韓国料理に挑戦	脂質異常症について	5
平成29年10月13日			13
平成29年12月13日	おせち料理	腸内環境を整えよう	16
平成29年12月15日			16
平成30年2月14日	簡単フレンチ	かぜ予防の食事	14
平成30年2月16日			17

2) 初心者のための栄養講座

【前期】

日時	テーマ	参加人数(合計)
平成29年5月17日	ハンバーグステーキ	10
平成29年5月20日		11
平成29年7月12日	八宝菜	10
平成29年7月15日		15
平成29年9月13日	牛井	8
平成29年9月16日		16

【後期】

日時	テーマ	参加人数(合計)
平成29年11月15日	魚の野菜あんかけ	10
平成29年11月18日		10
平成30年1月17日	豚肉の味噌漬け焼き	8
平成30年1月20日		7
平成30年3月14日	野菜の肉巻き	9
平成30年3月17日		13

3) 外部講師料理教室

【第1回】

日時	テーマ	内容	参加人数(合計)
平成29年5月26日	発酵ライフを楽しむ 第2弾	はちみつパン+ベリーのクリーミーチーズ、キャベツとウインナーの白ワイン煮、酒粕のシフォンケーキ	7
平成29年6月23日		天然酵母のエピ、ハンバーグ+柚子ヨーグルトソース、ヨーグルトゼリー季節のフルーツ添え	8
平成29年7月28日		天然酵母のパーカーハウス、塩麹ローズマリーチキン、ヨーグルトと甘酒のデザート	6

【第2回】

日時	テーマ	内容	参加人数(合計)
平成29年10月27日	おしゃれにおもてなしクッキング	【ハーブ料理】バジルペーストの Pasta、バジルペーストとじゃがいものピザ、ラタトゥイユ、手作りハーブソルト、ハーブティーとケーキ	7
平成29年11月24日		【スパイス料理】チャパタのサンド、チリコンカン、トルティーヤ、ボンデケーキ、ブルーベリーのケーキ、	11
平成29年12月22日		【クリスマス料理】サーモンのパイ包み、チキンのディアボラ、簡単オードブル、クリスマスケーキ	11

5. リラクゼーションセミナー

セミナーの内容

リンパマッサージのテーマで外部講師を招き、全2回実施した。各セミナーとも90分間で、テーマに沿った講話やリラクゼーション実技を行った。延べ13名の参加があり、女性のみ、年齢は20歳代～70歳代と幅広かった。

「リンパマッサージ」

日時	テーマ	参加者数
平成29年6月2日	リラクスマッサージ&筋膜ストレッチ ～疲労回復・肩こり緩和に～	6
平成29年9月8日	夏の疲れ・むくみを改善☆ 足のリンパマッサージ ～アロマ石けんお土産つき～	7

6. 健康増進指導体験

年間の利用件数は2件、利用者数は50名であった。

開催日	参加団体名	コース	参加人数
平成29年7月13日(木)	井笠愛育委員連合会	運動	20
平成30年3月16日(金)	岡山県学校保健会高等学校 岡山ブロック養護部会	運動 食事	30

(2) 教育・研修部門

1. 派遣事業

年間を通して61件の派遣依頼を受託した。

実施日	実施元	会名・講座名	人数	派遣者
5/11	岡山県難病相談・支援センター	患者交流会 栄養講座	10	国橋 由美子
5/19	中国電力岡山支社	年代別健康づくり教育	35	山下 裕絵
5/31	辰巳高齢者体操クラブ	高齢者体操	24	高橋 卓也
6/8	岡山県難病相談・支援センター	患者交流会 のびのびストレッチ	10	高橋 卓也
6/13	霧原開発園	健康づくりの運動と講義	12	山下 裕絵
6/16	緑クワレ会数事業所	体力測定(立ち上がりテスト・2ステップテスト・長座位体前屈・開眼片足立ち)	73	森下 明恵 山下 裕絵 国橋 由美子
6/21	霧原開発園	健康づくりの運動と講義	14	山下 裕絵
6/23	緑クワレ会数事業所	体力測定(立ち上がりテスト・3ステップテスト・長座位体前屈・開眼片足立ち)	75	森下 明恵 国橋 由美子 丸山 弘子
6/29	備前市老人クラブ連合会	交通安全講習会健康づくり講習会	30	森下 明恵
6/30	緑クワレ会数事業所	体力測定(立ち上がりテスト・4ステップテスト・長座位体前屈・開眼片足立ち)	78	森下 明恵 山下 裕絵 農田 加奈子
7/4	緑クワレ会数事業所	体力測定(立ち上がりテスト・5ステップテスト・長座位体前屈・開眼片足立ち)	71	森下 明恵 山下 裕絵 後藤 礼子
7/21	公立学校共済組合岡山支部	職場の健康づくり研修会支援事業 リラクゼーションセミナー	40	山下 裕絵
7/28	特別養護老人ホーム 喜福園	腰痛予防の研修講習「腰痛・肩こり予防」	35	高橋 卓也
7/29	全三菱自動車・三菱ふそう労働組合連合会	働く女性が職場や自宅でできるリフレッシュ法	30	後藤 礼子
8/10	岡山県難病相談・支援センター	患者交流会 栄養講座	10	農田 加奈子
8/23	辰巳高齢者体操クラブ	高齢者体操	25	高橋 卓也
9/5	筑実大学・筑実短期大学	健康教室食事(栄養)コース「がんを予防する食事」	10	農田 加奈子
9/8	筑実大学・筑実短期大学	健康教室運動コース「ストレッチヨガ」	10	高橋 祐子
9/14	公立学校共済組合岡山支部	職場の健康づくり研修会支援事業肩こり解消・腰痛予防研修会	20	高橋 卓也
9/15	筑実大学・筑実短期大学	健康教室運動コース「ボディシェイプ」	10	高橋 祐子
9/19	筑実大学・筑実短期大学	健康教室こころの休養コース「ストレスと上手につきあおう」	5	後藤 礼子
9/20	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 岡山支部	健康講話「ストレッチヨガ」～呼吸を覚えて心身をリラックス～	25	高橋 祐子
9/26	宮田町内会	健康講座 生活習慣病の予防について	40	後藤 礼子
10/5	緑クワレ会数事業所	体力測定 フォローアップセミナー	10	森下 明恵
10/10	緑クワレ会数事業所	体力測定 フォローアップセミナー	21	森下 明恵
10/10	足立石匠工業株式会社	衛生講演会	45	後藤 礼子
10/11	公立学校共済組合岡山支部	職場の健康づくり研修会支援事業 腰痛予防研修会	25	高橋 祐子
10/12	岡山県難病相談・支援センター	患者交流会 のびのびストレッチ	10	高橋 卓也
10/12	緑クワレ会数事業所	体力測定 フォローアップセミナー	13	森下 明恵
10/12	緑クワレ会数事業所	体力測定 フォローアップセミナー	9	森下 明恵
10/17	地方職員共済組合岡山県支部	健康教室 ウォーキング講座	30	山下 裕絵
10/18	緑クワレ会数事業所	体力測定 フォローアップセミナー	9	森下 明恵
10/18	和気町役場 健康福祉課	第6回栄養委員研修会「大豆製品を使用した、ヘルシーおめでなし料理」	65	国橋 由美子
10/20	地方職員共済組合岡山県支部	健康教室「健康維持のためにダイエットに取り組んでみませんか」	30	山下 裕絵
10/21	(株)ウッドワールドのびき	健康づくり講座	4	高橋 祐子
10/24	地方職員共済組合岡山県支部	健康教室 出前ウォーキング講座	50	高橋 卓也
10/27	地方職員共済組合岡山県支部	健康教室 出前ウォーキング講座	50	高橋 祐子
10/31	地方職員共済組合岡山県支部	健康教室 ウォーキング講座	30	山下 裕絵
11/8	(株)日立製作所 中国支社	健康アップセミナー 口体力測定 ロンナーの身体づくりについて(運動実践あり)	20	森下 明恵
11/15	辰巳高齢者体操クラブ	高齢者体操	23	高橋 卓也
11/15	魏口市委員会 金光地区	健康づくりの運動と栄養士による講習「骨を強くする運動と食事」	24	高橋 祐子
11/16	ヤクルト	体力測定	72	森下 明恵 山下 裕絵
11/24	ヤクルト	体力測定	77	森下 明恵 高橋 卓也
11/26	矢掛町シルバー人材センター	休養コース ぐっすり眠ってリフレッシュ	100	後藤 礼子
11/30	岡山中学校保健会中学校保健部会	研修会 保健室で役立つストレッチ、運動指導	21	高橋 卓也
12/5	岡三証券株式会社	健康セミナー 介護予防は食事から	100	国橋 由美子
12/5	備前市保健課健康係	特定保健指導(積極的支援・動機付け支援)講話・運動指導「やせる体操」	12	山下 裕絵
12/7	公立学校共済組合岡山支部	職場の健康づくり研修会支援事業 腰痛予防研修会	50	高橋 卓也
1/16	備前市保健課健康係	特定保健指導(積極的支援・動機付け支援)講話・運動指導「やせる体操」	13	山下 裕絵
1/25	地方職員共済組合岡山県支部	健康管理セミナー 冷え性対策のストレッチ運動	30	高橋 卓也
1/26	岡山県工業技術センター	腰痛・肩こり体操講座 腰痛や肩こりの改善や予防のための簡単な運動の紹介	20	吉藤 剛
1/31	三井造船健康保険組合	健康セミナー 体力測定、食事の講話、運動の講話、運動実践等	50	国橋 由美子 高橋 祐子
2/6	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	メンタルヘルスに関する講習	40	後藤 礼子

2/7	三井造船健康保険組合	健康セミナー 体力測定、食事の講話、運動の講話、運動実践等	50	国橋 由美子 高瀬 祐子
2/8	三井造船健康保険組合	健康セミナー 体力測定、食事の講話、運動の講話、運動実践等	50	国橋 由美子 高瀬 祐子
2/21	辰巳高齢者体操クラブ	高齢者体操	26	高橋 卓也
2/22	備前市吉永地区老人クラブ連合会	健康体操講習会	50	森下 明恵
2/23	備前市保健課健康係	特定保健指導(積極的支援・動機付け支援)講話・運動指導「やせる体操」	15	山下 裕絵
2/28	三井造船健康保険組合	健康セミナー 体力測定、食事の講話、運動の講話、運動実践等	50	国橋 由美子 高瀬 祐子
3/8	美作県民局助産地域事務所	健康管理セミナー 腰痛肩こり予防の運動	20	高橋 卓也
3/14	健康増進部	TIP事業 運動指導	20	高瀬 祐子

2. 図書の貸し出し（沼田文庫）

一般書から専門書まで健康に関する図書が閲覧できる。

平成17年9月から3階にある図書資料室より一般向けの図書を、1階健康増進有料ゾーンにて閲覧、貸し出しができるように書庫を配置した。また平成26年12月より、蔵書の多くを有料ゾーンに降ろし、「沼田文庫」と称した。尚、図書資料室は平成30年度より総合健診センターとなるため、平成29年度末をもって閉鎖した。

平成29年度で貸し出しを受けた人数、貸し出された図書の冊数は、1年間で129名、158冊の利用があった。

3. 大会議室・小会議室・栄養指導室・多目的聴講室

1) 大会議室

貸し出し件数は、年間30件であった。

2) 小会議室

貸し出し件数は、年間58件であった。

3) 栄養指導室

貸し出し件数は、年間6件であった。

4) 多目的聴講室

貸し出し件数は、年間26件であった。

4. 研究室の開放

貸し出し件数は、年間1件であった。

(3) 調査・研究部門

1. 業績

1) 学会発表

- ア 岡山県南部健康づくりセンターにおける健康セミナーのニーズ及び派遣事業の現状と課題
豊田加奈子、関明穂、森下明恵、国橋由美子、後藤礼子（第24回岡山県保健福祉学会、2018年1月22日、岡山県）

2) 講演

- ア 子どもたちの多様な性のありかたに向き合うために
～学校体制の確立に向けて～
関明穂（第18回広島県高等学校教育研究会養護部会総会、2017年7月28日、JMS アステールプラザ、広島市）

3) 雑誌掲載

- ア 性同一性障害・性別違和などの子どもたちと向き合う先生へ（連載）
関明穂
健 p.72-73、46巻1号（4月号）、2017
健 p.72-73、46巻2号（5月号）、2017
健 p.70-71、46巻3号（6月号）、2017

4) 研究助成

- ア 知的障害児・発達障害児の肥満予防対策としての運動プログラム開発
主任研究者 森下明恵（岡山県南部健康づくりセンター）
共同研究者 伊藤武彦（岡山大学大学院教育学研究科）
共同研究者 鈴木久雄（岡山大学全学教育・学生支援機構スポーツ支援室）
共同研究者 関明穂（岡山県南部健康づくりセンター）
健康・体力づくり事業財団健康運動指導研究助成金

(4) スポーツ医科学部門

1. 受診者数およびその内訳

ファジアーノ岡山の1名と興譲館高校（女子陸上部長距離）の14名が筋力測定を受けた。岡山県中学校体育連盟（スキー部）の6名と興譲館高校（女子陸上部長距離）の4名が運動負荷試験を受けた。

(5) 健康診断（人間ドック）部門

1. 人間ドック

1) 受診者の内訳

年間で9,300件(男性5,893人、女性3,376人、計9,269人)の受診があり、前年度比100.6%の受診者数となった。

2) 検査項目別

部位・臓器・検査方法別の検査結果を以下に示す。

なお、現在医療機関でそれぞれの検査項目に関して治療中か経過観察中のものを「治療中」とした。それ以外のもののうち、検査項目内の結果がすべて正常であったものを「異常なし」、いずれかの検査結果が正常範囲からはずれているが問題ない範囲のものを「有所見」、経過観察が必要なものを「要観察」、医療機関での精密検査あるいは治療を要するものをそれぞれ「要精検」「要治療」とした。

また、「異常なし」「有所見」以外のものをまとめて「要観察以上」、検診によって新たに医療を要することが指摘された「要精検」「要治療」をまとめて「要医療」とし、各検査項目の受診者全体に対する「要観察以上」「要医療」のものの割合を算出した。

① 肥満度

BMI18.5未満を低体重、18.5以上25.0未満を普通体重、25.0以上30.0未満を肥満1度、30.0以上35.0未満を肥満2度、35.0以上40.0未満を肥満3度、40.0以上を肥満4度とした。

肥満1度以上のものは男性2,067人(35.4%)、女性609人(20.4%)であった。

	受診者数	低体重	普通体重	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度
		-18.49	18.5-24.9	25.0-29.9	30-34.9	35-39.9	40-
男性(人)	5847	164 (2.8%)	3616 (61.8%)	1690 (28.9%)	302 (5.2%)	62 (1.1%)	13 (0.2%)
女性(人)	2978	343 (11.5%)	2026 (68.0%)	465 (15.6%)	112 (3.8%)	27 (0.9%)	5 (0.2%)

② 血圧

収縮期血圧134mmHg以下、拡張期血圧85mmHg以下を正常値、収縮期血圧139mmHg以下、拡張期血圧89mmHg以下を参考基準値とし、「治療中」ではないもので収縮期血圧、拡張期血圧ともに正常値であるものを「異常なし」、いずれかが正常値を超えるものの参考基準値は超えないものを「有所見」とした。

男性の1,616人(27.7%)、女性の436人(14.7%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性1,057人(18.1%)、女性254人(8.6%)、「要医療」のものは男性172人(2.9%)、女性47人(1.6%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5838	3697 (63.3%)	525 (9.0%)	387 (6.6%)	0 (0.0%)	172 (2.9%)	1057 (18.1%)
女性(人)	2969	2375 (80.0%)	158 (5.3%)	135 (4.5%)	0 (0.0%)	47 (1.6%)	254 (8.6%)

③ 心電図

男性の 521 人 (8.9 %)、女性の 146 人 (4.9 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 172 人 (3.0 %)、女性 34 人 (1.1 %)、「要医療」のものは男性 40 人 (0.7 %)、女性 14 人 (0.4 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5830	4341 (74.5%)	968 (16.6%)	309 (5.3%)	37 (0.6%)	3 (0.1%)	172 (3.0%)
女性(人)	2961	2445 (82.6%)	370 (12.5%)	98 (3.3%)	13 (0.4%)	1 (0.0%)	34 (1.1%)

④ 検尿

男性の 1,173 人 (20.1 %)、女性の 1,231 人 (41.6 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 79 人 (1.4 %)、女性 22 人 (0.7 %)、「要医療」のものは男性 96 人 (1.7 %)、女性 20 人 (0.7 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5832	3996 (68.5%)	663 (11.4%)	998 (17.1%)	57 (1.0%)	39 (0.7%)	79 (1.4%)
女性(人)	2961	1327 (44.8%)	403 (13.6%)	1189 (40.2%)	12 (0.4%)	8 (0.3%)	22 (0.7%)

⑤ 肝機能

男性の 2,332 人 (40.0 %)、女性の 491 人 (16.6 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 248 人 (4.3 %)、女性 48 人 (1.6 %)、「要医療」のものは男性 455 人 (7.8 %)、女性 89 人 (3.0 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5832	2484 (42.6%)	1016 (17.4%)	1629 (27.9%)	335 (5.7%)	120 (2.1%)	248 (4.3%)
女性(人)	2961	2009 (67.8%)	461 (15.6%)	354 (12.0%)	75 (2.5%)	14 (0.5%)	48 (1.6%)

⑥ 脂質異常症

男性の 4,555 人 (78.1 %)、女性の 1,945 人 (65.6 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 924 人 (15.8 %)、女性 350 人 (11.8 %)、「要医療」のものは男性 529 人 (9.1 %)、女性 179 人 (6.0 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5832	1132 (19.4%)	145 (2.5%)	3102 (53.2%)	0 (0.0%)	529 (9.1%)	924 (15.8%)
女性(人)	2966	836 (28.2%)	185 (6.2%)	1416 (47.7%)	0 (0.0%)	179 (6.0%)	350 (11.8%)

⑦ 耐糖能異常

男性の 3,178 人 (54.5 %)、女性の 983 人 (33.1 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 516 人 (8.8 %)、女性 74 人 (2.5 %)、「要医療」のものは男性 195 人 (3.3 %)、女性 30 人 (1.0 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5832	2654 (45.5%)	0 (0.0%)	2467 (42.3%)	111 (1.9%)	84 (1.4%)	516 (8.8%)
女性(人)	2966	1983 (66.9%)	0 (0.0%)	879 (29.6%)	18 (0.6%)	12 (0.4%)	74 (2.5%)

⑧ 尿酸

男性の 1,789 人 (30.9 %)、女性の 50 人 (1.7 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 515 人 (8.9 %)、女性 8 人 (0.3 %)、「要医療」のものは男性 285 人 (4.9 %)、女性 6 人 (0.2 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5789	3991 (68.9%)	9 (0.2%)	989 (17.1%)	0 (0.0%)	285 (4.9%)	515 (8.9%)
女性(人)	2937	2879 (98.0%)	8 (0.3%)	36 (1.2%)	0 (0.0%)	6 (0.2%)	8 (0.3%)

⑨ 血液一般

男性の 652 人 (11.2 %)、女性の 594 人 (20.0 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 33 人 (0.6 %)、女性 61 人 (2.1 %)、「要医療」のものは男性 69 人 (1.2 %)、女性 138 人 (4.7 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5832	3637 (62.4%)	1543 (26.5%)	550 (9.4%)	58 (1.0%)	11 (0.2%)	33 (0.6%)
女性(人)	2961	1536 (51.9%)	831 (28.1%)	395 (13.3%)	41 (1.4%)	97 (3.3%)	61 (2.1%)

⑩ 超音波検査

腹部超音波検査により肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓、脾臓等の検査を行った。

男性の 1,904 人 (56.9 %)、女性の 701 人 (41.3 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 10 人 (0.3 %)、女性 11 人 (0.6 %)、「要医療」のものは男性 85 人 (2.5 %)、女性 24 人 (1.4 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	3347	829 (24.8%)	614 (18.3%)	1809 (54.0%)	85 (2.5%)	0 (0.0%)	10 (0.3%)
女性(人)	1697	662 (39.0%)	334 (19.7%)	666 (39.2%)	24 (1.4%)	0 (0.0%)	11 (0.6%)

⑪ 胸部X線検査

CR装置による直接撮影を行った。

男性の391人(6.7%)、女性の92人(3.2%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性54人(0.9%)、女性25人(0.9%)、「要医療」のものは男性201人(3.5%)、女性50人(1.7%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5819	4657 (80.0%)	771 (13.2%)	136 (2.3%)	200 (3.4%)	1 (0.1%)	54 (0.9%)
女性(人)	2921	2528 (86.7%)	301 (9.5%)	17 (0.8%)	49 (1.9%)	1 (0.1%)	25 (0.9%)

⑫ 胃部造影検査

DR装置による直接撮影を行った。

男性の2,066人(38.3%)、女性の740人(29.3%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性10人(0.2%)、女性3人(0.1%)、「要医療」のものは男性218人(4.0%)、女性61人(2.4%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5394	2507 (46.5%)	821 (15.2%)	1838 (34.1%)	206 (3.8%)	12 (0.1%)	10 (0.2%)
女性(人)	2525	1038 (41.1%)	747 (29.6%)	676 (26.8%)	59 (2.3%)	2 (0.1%)	3 (0.1%)

⑬ 骨密度検査

DXA法により第2～第4腰椎正面の骨密度を測定した。

男性の12人(54.6%)、女性の173人(77.2%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性0人(0.0%)、女性26人(11.6%)、「要医療」のものは男性3人(13.6%)、女性18人(8.4%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	22	10 (45.5%)	0 (0.0%)	9 (40.9%)	3 (13.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
女性(人)	224	51 (22.8%)	0 (0.0%)	129 (57.6%)	18 (8.0%)	0 (0.0%)	26 (11.6%)

3) 婦人科検診

① 乳がん検診

乳がん検診として、視触診とマンモグラフィ、乳房超音波検査とを行った。

乳がん検診の総受診者数は2,156人であり、そのうち、マンモグラフィ受診者は1,407人であった。乳がん検診受診者の167人(7.7%)が「要観察以上」であり、そ

のうち「治療中」のものは25人(1.2%)、「要医療」のものは62人(2.9%)であった。マンモグラフィも実施したものに限定すると、69人(4.9%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは5人(0.4%)、「要医療」のものは56人(4.0%)であった。

乳がん検診	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
女性(人)	2152	789 (36.7%)	1196 (55.6%)	80 (3.7%)	62 (2.9%)	0 (0.0%)	25 (1.2%)
マンモグラフィ	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
女性(人)	1407	553 (39.3%)	785 (55.8%)	8 (0.6%)	56 (4.0%)	0 (0.0%)	5 (0.4%)

② 子宮がん検診

子宮がん検診として、子宮頸部細胞診と婦人科診察、経膈超音波検査を行った。子宮頸部細胞診ではclass I、IIを正常とし、class IIIa以上を「要精検」とした。

子宮がん検診の受診者数は2,055人であった。

受診者の330人(16.7%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは23人(1.2%)、「要医療」のものは184人(9.3%)であった。また、子宮頸部細胞診でclass IIIa以上の「要精検」であったものは32人(1.1%)であった。

子宮がん検診	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
女性(人)	1980	1648 (83.2%)	2 (0.1%)	123 (6.2%)	128 (6.5%)	56 (2.8%)	23 (1.2%)
細胞診	受診者数	class I	class II	class IIIa	class IIIb	class IV	class V
女性(人)	1980	0 (0.0%)	1948 (98.4%)	22 (1.1%)	10 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

2. 脳ドック

脳ドックの受診者数は283人(男性191人、女性92人)であった。

男性の17人(8.9%)、女性の12人(13.0%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性0人(0.0%)、女性0人(0.0%)、「要医療」のものは男性7人(3.7%)、女性9人(9.8%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	191	104 (54.5%)	70 (36.6%)	9 (4.7%)	7 (3.7%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)
女性(人)	92	48 (52.2%)	32 (34.8%)	3 (3.3%)	9 (9.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

3. らせんCT 胸部検診

らせんCT 胸部検診は、肺がんの早期発見に威力を発揮することが注目されて普及し、着実に受診者に浸透しつつある。今後も慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの呼吸器疾患の早期発見や、禁煙への動機づけにも有効であるため、普及啓発に今後とも力を注いでいくことが重要とされている。

らせんCT 胸部検診の受診者数は284人（男性256人、女性28人）であった。

男性の59人（23.0%）、女性の8人（28.6%）が「要観察以上」であり、「要医療」のものは男性22人（8.6%）、女性4人（14.3%）であった。「治療中」のものは男性0人（0.0%）、女性0人（0.0%）であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	256	23 (9.0%)	174 (68.0%)	37 (14.5%)	22 (8.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
女性(人)	28	3 (10.7%)	17 (60.7%)	4 (14.3%)	4 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

7 普及啓発事業

(1) 財団の広報

ホームページの更新、広報誌の発行、他団体広報誌へ記事の提供等を通して、財団の広報に努めた。

1) 広報誌の発行

広報誌「健康と環境」を年3回発行し、事業の紹介と県民の健康づくり、環境保全に関する意識の高揚を図った。

- ・発行部数 第71号 5,000部 (4月20日発行)
第72号 5,000部 (8月20日発行)
第73号 5,000部 (12月20日発行)
- ・主要配布先 県、市町村、教育委員会、学校、警察署、保健所、近隣町内会、
医師会、病院協会、福祉施設、事業所等

2) ホームページ更新

財団ホームページに、財団の事業紹介、健康情報・生活環境に関する情報提供、セミナーや教室の案内、各種行事の予定等を随時更新し、紹介した。

(2) 結核予防に関する事業

結核は、60年前までは、死亡原因の第一位であったが医療や生活水準の向上により、薬による完治が可能になった。しかし依然として岡山県においても年間200名以上の患者が発生する重大な感染症であることから啓発活動を行っている。

1) 広報・募金活動

結核予防思想の普及と事業資金確保のため世界中で行われている複十字シール運動(8月1日～12月31日)について、県、市町村及び岡山県愛育委員連合会の協力を得て、積極的に普及啓発活動及び募金活動を実施した。また結核予防週間(9月24日～30日)を中心に結核予防に関するポスター(3,000部)等の広報資材を、保健所、市町村、病院等を通じて広く県民に配布し啓発に努めた。

期間中の大規模な街頭活動として、9月23日 JR 岡山駅地下道ももたろう観光センター前広場において、県や市、岡山県愛育委員連合会、岡山県診療放射線技師会と共催で街頭キャンペーンを行った。このキャンペーンでは、結核撲滅の呼びかけを行うとともに、チラシ、ポケットティッシュ等の啓発資材(3,700組)を活用し募金を呼びかけた。

- ・募金額 2,109,556円（平成30年3月31日現在）
- ・募金の使途 胸部疾患予防思想の普及啓発事業

2) 知事表敬訪問

7月31日、全国一斉複十字シール運動開始にあたり、理事長が岡山県愛育委員連合会長とともに、知事を表敬訪問し運動への理解と協力を要請した。

(3) がん予防に関する事業

1) 「がん征圧岡山県大会」の開催

8月29日、岡山県医師会館三木記念ホールにおいて岡山県、県医師会と共催で、「継続が予防につながるがん検診」をスローガンに、がん征圧岡山県大会を開催した。約300名の参加を得て、がん予防事業功労者への表彰や研究助成金の贈呈、肺がんをテーマに講演会を開催し、がん予防に関する啓発活動を行った。

2) キャンペーン放送の実施

がん征圧月間中を中心に、テレビ・ラジオ放送において広報活動を行った。

3) その他の啓発活動

がん征圧運動推進に関する協定を締結している岡山の女子サッカークラブ「岡山湯郷 Belle」と協働して、9月3日のシティライトスタジアムでのホームゲームにおいて、女性のがん（乳がん・子宮頸がん）の啓発活動を行った。

がん征圧月間（9月）に向けて、市町村・病院・大学等へ本部が作成した「がん検診啓発」および「禁煙」に関するポスターを配布し、がん予防の啓発に努めた。

ピンクリボン運動月間（10月）を中心に乳がんについての啓発活動を行う「ピンクリボン岡山」の実行委員会に参加し、10月14日には、山陽新聞社さん太広場においてマンモグラフィ検診車による無料検診（70名）を実施した。

4) 募金

がん予防を推進するために協力を呼びかけ、597件3,464,170円の募金等を頂いた。

(4) 禁煙の普及啓発に関する事業（岡山県禁煙問題協議会）

1) 街頭キャンペーンの実施

5月31日の世界禁煙デーに、岡山駅、津山駅等で、県・市町村職員、愛育委員、禁煙アドバイザー等の協力を得て街頭活動を行い、啓発チラシ（21,500枚）、ポケットティッシュ（25,500個）を配布し、禁煙を呼びかけた。

2) ポスターコンクールの開催

県下の小学校4年生～6年生を対象に、禁煙啓発ポスターコンクールの作品を募集した。13校から142点の応募作品があり、入賞者8名を8月のがん征圧岡山県大会で表彰した。入賞作品を掲載したカレンダー（2,800枚）を作成し、県、市町村、県警及び県下の学校等関係機関へ配布した。

3) 岡山県知事訪問

世界禁煙デーを前に、県下各地で実施する街頭活動の意義及び目的を県知事に説明し、協力頂くことを目的として表敬訪問した。

4) 講師の派遣

教育機関、一般企業等で開催された禁煙に関する研修等に、医師を講師として派遣し禁煙の啓発に努めた。

5) 教材等の貸出

たばこの害についてのチラシの配布や、スモーカーライザーを貸し出し、教育機関や一般企業独自の啓発活動を支援した。

6) 募金

禁煙普及啓発を推進するために、当協議会に353件512,000円の募金を頂いた。

(5) 「健康おかやま21」への参加

生活習慣病改善による健康づくりの推進を目的としており、またメタボリックシンドロームに注目があてられている中、生活習慣病予防の普及に努めた。

(6) 助成事業

1) がん助成

がんに関する研究・研修事業に対して対がん基金による助成を行った。

- ・膵臓癌の早期発見を目的とした新規バイオマーカーの同定
岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 講師 江口 潤 氏
- ・肺癌における宿主免疫応答を利用した免疫治療の新規バイオマーカーの同定
川崎医科大学 呼吸器内科学 講師 大植 祥弘 氏
- ・呼気濃縮液からの癌遺伝子の検出方法の確立
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科血液・腫瘍・呼吸器内科
助教 大橋 圭明 氏

2) 健康づくり関係団体への助成

県民の健康づくりを推進している、岡山県愛育委員連合会、岡山県栄養改善協議会等の関係団体に助成を行った。

(7) 会議等の開催

区 分	開催 年月日	会 場	議 題
会計監査	H29. 5. 24	岡山県南部健康づくりセンター 小会議室	1. 平成28年度決算について
会計・業務監査	H29. 5. 28	岡山県南部健康づくりセンター 研修室2	1. 平成28年度事業実績について 2. 平成28年度決算について
第1回理事会	H29. 6. 12	岡山県南部健康づくりセンター 大会議室	1. 平成28年度各事業実施及び収支決算 について
定時評議員会	H29. 6. 29	岡山県南部健康づくりセンター 大会議室	1. 平成28年度各事業実施及び収支決算 について 2. 評議員・理事・監事の選任について
臨時理事会	H29. 6. 29	岡山県南部健康づくりセンター 大会議室	1. 理事長（代表理事）及び専務理事（業務 執行理事）の選定について
臨時理事会	H29. 9. 26	岡山県南部健康づくりセンター 大会議室	1. 岡山県南部健康づくりセンターの指定管 理申請について 2. 総合健診センター（仮称）整備計画につ いて
第2回理事会	H30. 3. 19	岡山県南部健康づくりセンター 大会議室	1. 平成30年度各事業計画及び収支予算案 について 2. 経営計画について

事業年報 平成 29 年度

発行 公益財団法人 岡山県健康づくり財団
〒700-0952 岡山市北区平田 408-1
TEL 086-246-6254 FAX 086-246-6258
E-mail : zaidan@okakenko.jp

